

ユーザーマニュアル

Nord Organ 3
日本語

OS バージョン : 1.0x

Edition: A
(C) 2025 Clavia DMI AB

目次

1 はじめに	1
ありがとうございます！	1
主な特長	1
Nord Online	1
OS アップデート	1
工場出荷時の状態に戻す	1
ユーザー マニュアルについて	2
マニュアルを PDF 形式で読む	2
免責事項	2
2 概要	3
Nord Organ 3 を構成する要素	3
マスター レベル	3
プログラム モードとパネル モード	3
オルガン / ベース モデル	3
ロータリースピーカー / アンプ シミュレーター	3
プログラム	3
エフェクト	4
ドローバー	4
3 始めましょう	5
電源を入れる	5
パネル上の操作子	5
ドローバー	5
ノブ	5
ダイアル	5
セレクター ボタン	5
オン / オフ ボタン	5
ボタンの長押し	6
シフト ボタン	6
マスター レベル ノブ	6
ソフト ボタン	6
プログラム	6
プログラム を選択する	6
リスト ビュー	6
プログラム モード	7
プログラム 「Nord B3」	7
プログラム を編集する	7
メモリー プロテクト をオフ にする	7
オルガン モデル を選択する	8
ベース モデル を選択する	8
エフェクト をかける	8
プログラム をストア する	8
ライブ モード	8
4 オルガン モデルとベース モデル	10
ドローバーと LED 表示	10
プリセッタ	10
プリセッタ を編集する	10
プログラム モード	10
ドローバー シンク	10
Nord Organ 3 に搭載されている オルガン モデル	11
オルガン モデル を選択する	11
5 ロータリースピーカー / アンプ シミュレーター	16
ロータリースピーカー	16
マイク ポジション	16
ベース ワイド 設定	16
オーバードライブ	16
オーバードライブ を外部 ロータリースピーカー にかける	16
ロータースピード	17
ストップ アングル	17
ローター コントロール	17
ロータリースピーカー に関する メニュー 項目	17
アンプ シミュレーター	17
オーバードライブ	17
6 プログラム	18
シフト ボタン	18
プログラム とは	18
プログラム ダイアル	18
プログラム リスト	18
プログラム と バンク	18
プログラム 「Nord B3」	18
ライブ プログラム	19

イニシャライズ	11
B3 モデル	11
ドローバー	11
ビブラート / コーラス	11
パー カッシュ ン	12
パー カッシュ ン の 発音 と ポリ モード	12
パー カッシュ ン 設定	12
キー クリック	12
Vx モデル	12
ドローバー	12
ビブラート	12
Farf モデル	13
レジスター	13
ビブラート / コーラス	13
ソフト B3 モデル	13
パイプ モデル	13
ビブラート / コーラス	13
ベース モデル	14
B3 ベース モデル	14
B3 オルタネート ベース モデル	14
Vx ベース モデル	14
Farf ベース モデル	14
Trk ベース モデル	14
Trk オルタネート ベース モデル	14
Pipe ベース モデル	14
ソフト B3 ベース モデル	14
ユーザー ベース モデル	14
ユーザー ベース プリセッタ 設定	14
サステイン	14
スウェル ペダル	15
5 ロータリースピーカー / アンプ シミュレーター	16
ロータリースピーカー	16
マイク ポジション	16
ベース ワイド 設定	16
オーバードライブ	16
オーバードライブ を外部 ロータリースピーカー にかける	16
ロータースピード	17
ストップ アングル	17
ローター コントロール	17
ロータリースピーカー に関する メニュー 項目	17
アンプ シミュレーター	17
オーバードライブ	17
6 プログラム	18
シフト ボタン	18
プログラム とは	18
プログラム ダイアル	18
プログラム リスト	18
プログラム と バンク	18
プログラム 「Nord B3」	18
ライブ プログラム	19

メニュー	19	Ext Out	28
ストア	19	Aux Out	28
プログラムをストアする	19	Sustain Pedal	28
別名でストアする	19	Type	28
トランスポーズ	20	Swell Pedal	28
MIDI インジケーター	20	Type	28
		Gain	28
7 エフェクト	21	Rotary Ctrl	28
エフェクトのかかり方を調整する	21	Type	28
モジュレーション	21	Pedal Mode	28
アップナーイー設定	21	MIDI Channels	29
フェイザー	21	Local Control	29
トレモロ	21	Channel Upper	29
リングモジュレーション	21	Channel Lower	29
フランジャー	21	Channel Bass	29
コーラス	22	MIDI Settings	29
イコライザー	22	Transpose At	29
ディレイ	22	MIDI CC	29
アップナーイー設定	22	MIDI PC	29
フィルター	22	Settings Reset	29
テンポ	22	System Info	29
タップテンポ	22	Sound メニュー	29
アナログモード	22	B3 Settings	29
リバーブ	23	Keyboard Bounce	29
リバーブタイプ	23	Tone-Wheel	29
ブライト/ダークモードとコラール設定	23	B3 Percussion	30
プリロータリー設定	23	Normal Volume	30
8 MIDI	24	Soft Volume	30
MIDI 機能	24	Slow Decay	30
MIDI チャンネル	24	Fast Decay	30
Nord Organ 3 の演奏を音楽制作アプリに記録する	24	Rotary Speaker	30
外部の MIDI 機器から Nord Organ 3 を演奏する	24	Horn Acceleration	30
Nord Organ 3 から外部の MIDI 機器を演奏する	24	Horn Speed	30
MIDI メッセージ	24	Rotor Acceleration	30
ノートオンとノートオフ	24	Rotor Speed	30
コントローラー	24	Rotary Speaker (cont.)	30
プログラムチェンジ	25	Balance	30
ローカルコントロール	25	Stop Angle (Close)	30
9 Nord Sound Manager 9	26	Bass User Preset	30
Nord Sound Manager 9 について	26	11 資料	31
動作環境	26	接続端子	31
10 メニュー	27	MIDI	31
System メニュー	27	MIDI In	31
System Settings	27	MIDI Out	31
Memory Protect	27	Bass Pedal	31
Start with "Nord B3"	27	オーディオ	31
Keyboard Trigger	27	Ext. Rotary Speaker と High Level Out	31
Tuning	27	Monitor In	31
Global Transpose	27	Headphones	31
Fine Tune	27	Left Out と Right Out	31
Output Routing	27	Aux Out	31
L+R Out	27	ペダル	31
		Sustain Pedal	31
		Swell Pedal	32
		Rotary Ctrl	32
		USB	32
		MIDI コントローラーナンバー表	32
		索引	i

1 はじめに

ありがとうございます！

Nord Organ 3 をお選びいただき、ありがとうございます。Nord Organ 3 は、サウンド、デザイン、およびパフォーマンスに大幅な改良を施した、Nord Organ シリーズの最新モデルです。強化されたオルガンエンジン、追加されたモジュレーションエフェクト、そして新たに搭載された格別のロータリースピーカーエミュレーションにより、Nord Organ 3 は比類のないディテールとリアリズムを実現します。

主な特長

Nord Organ 3 の主な特長は次のとおりです。

- ・ ピンテージ B3 トーンホイールオルガンのモデリング。
- ・ Vx と Farf、2 種類のトランジスターオルガンのモデリング。
- ・ ピンテージ固有の特徴をあえて排した、Soft B3 オルガンモデリング。
- ・ パイプオルガンのモデリング。
- ・ 手鍵盤用の 9 本 × 4 セットに加え足鍵盤用の 2 本 × 1 セットを備えた物理ドローバー。UPPER MANUAL B、LOWER MANUAL A、および 2 本 1 組からなる BASS PEDAL には、LED 表示を備えています。
- ・ さまざまなオプションを備えたロータリースピーカーエミュレーション。トレブルホーンには 5 種類のマイクポジション、ベースローターにはモノラル/ステレオの切り替えが用意されています。
- ・ [DRIVE TYPE] で選べる、3 種類のオーバードライブ。
- ・ フェイザー、トレモロ、リングモジュレーター、フランジャー、およびコーラスを含む、モジュレーションエフェクト。
- ・ タップテンポ機能、アナログモード、フィルター付きフィードバックを備えたディレイ。[SHIFT] > [UPPER ONLY] で Upper Only モードをオンにして、上鍵盤のみにディレイを適用することもできます。
- ・ 中音域の中心周波数を自由に設定できる、3 バンドイコライザー。
- ・ 新たに搭載されたスプリングリバーブを含む、充実のリバーブ。ロータリースピーカーの前後どちらにリバーブを配置するかは、[SHIFT] > [PRE-ROTARY] で切り替えます。
- ・ オルガンらしいフィーリングとレスポンスを実現する、2 段のトリプルセンサー付きウォーターフォール鍵盤。

- ・ 手鍵盤のみ、または足鍵盤のみをクリーントーンのまま取り込みたいときに便利な、[AUX OUT] 端子。
- ・ 11 ピン Leslie™ コネクター [EXT. ROTARY SPEAKER] と 6.35 mm フォーンジャック [HIGH LEVEL OUT] の 2 つからなる、ロータリースピーカー専用の出力端子。ロータリースピーカーに直接接続できます。Leslie™ コネクターからは、スロー/ファストの切り替え信号も同時にに出力されます。
- ・ MIDI 対応足鍵盤を接続するために専用に設けられた、[BASS PEDAL] 端子。

Nord Online

Nord Web サイトでこれらにアクセスできます。

- ・ Nord Organ 3 やその他の Nord 製品に関する情報。
- ・ 最新の OS のダウンロード。
- ・ 無料のソフトウェア – Nord Sample Editor 4、Nord Sound Manager 9、およびドライバー。
- ・ Nord Piano Library サウンドの無料ダウンロード。
- ・ Nord Sample Library サウンドの無料ダウンロード。
- ・ Nord World – Nord 製品にまつわるニュース、セッション、およびその他の動画。
- ・ ユーザーマニュアルのダウンロード。

Facebook、Instagram、X (Twitter)、および YouTube の Nord 公式アカウント (@nordkeyboards) では、役立つ最新情報を随時更新しています。SNS への投稿には公式ハッシュタグ #iseenord をお気軽に使いください。

OS アップデート

Nord Organ 3 用の最新 OS はいつでも Nord Web サイトからダウンロードできます。Update History ページでは、どの機能が更新されたのかをバージョンごとにまとめて閲覧できます。定期的に確認し、お使いの機器を最新バージョンに保ってください。

NOTE: 初期に出荷された個体では、インストールされている OS のバージョンが古いために、機能の一部が使えないことがあります。すべての機能を有効にするために、OS アップデートを適用してください。

工場出荷時の状態に戻す

工場出荷時のプログラムは、それぞれ個別の Nord Sound Manager 9 ファイルとして Nord Web サイトからダウンロードできます。すべての設定とコンテンツを復元するために必要なスナップショットも提供しています。

NOTE: Nord 製品では工場出荷時の状態に戻す操作を「ファクトリーレストア (Factory Restore)」と呼びます。

ユーザーマニュアルについて

このマニュアルは Nord Organ 3 に搭載されたすべての機能を網羅するように構成されています。演奏や制作の現場で役立つ、実践的な活用例もご紹介しています。

マニュアルを PDF 形式で読む

PDF 版マニュアルは Nord Web サイトの Downloads ページからダウンロードできます。

NOTE: Nord 日本 Web サイトの Downloads ページでは日本語版のマニュアルを PDF ファイルとレスポンシブ Web、2 つのフォーマットで提供しています。

免責事項

このマニュアルにおいて言及されるあらゆる商標やブランド名は、それぞれの所有者の財産です。これらへの言及は、Nord Organ 3 が生成する特定のサウンドに対する説明を補助することのみを目的としており、Clavia が認可や提携を受けたことを示すものではありません。

2 概要



Nord Organ 3 を構成する要素

Nord Organ 3 のフロントパネルは、関連する機能のグループである「セクション」の連なりにより構成されています。

マスターレベル

最も左に位置するのは **[MASTER LEVEL]** ノブです。 **[HIGH LEVEL OUT]** 端子や **[AUX OUT]** 端子を含む、機器全体の音量レベルを制御します。

プログラムモードとパネルモード

「プログラムモード」では、Nord Organ 3 はプログラムに保存されたドローバー位置を中央の LED 付きドローバーセットにロードします。ボタンをオフにすると Nord Organ 3 は、プログラムに保存されたドローバー位置を無視し、実際のドローバー位置どおりに動作する「パネルモード」に切り替わります。

これらのパネル機能は、プログラムモードとパネルモードのそれだけで別々の状態を持ちます。

- アッパーとロワーそれぞれのオン／オフ状態を含む、**VIBRATO/CHORUS** 関連の設定群。
- **[B3 CLICK]** 設定。
- **BASS PEDAL** 設定群。
- **PERCUSSION** 設定群。
- 選択されている **USER** ベースモデル。

Related links:

[「プログラムモード」 \(7 ページ\)](#)

オルガン／ベースモデル

Nord Organ 3 は 5 種類のオルガンモデルと 5 種類のベースモデルを搭載しています。

User 以外のベースモデルでは、それぞれに便利かつクリエイティブな「オルタネートモデル」が用意されています。オルタネートモデルを選ぶには、**[SHIFT] > BASS MODEL [ALTERNATE]** を押します。User ベースモデルが選ばれている状態で **[SHIFT] > BASS MODEL [ALTERNATE]** を押すと、Sound メニューの Bass User Preset 設定が開きます。

オルガンモデルとベースモデルはそれぞれ個別に選べます。実機と同じセットアップを再現することも、好みの組み合わせで演奏することも、自由にできます。

Related links:

[「オルガンモデルとベースモデル」 \(10 ページ\)](#)

ロータリースピーカー／アンプシミュレーター

ここにはロータリースピーカーとアンプシミュレーターに関する操作子が並びます。 **[MIC POS]** 設定や **[DRIVE TYPE]** 設定を調整することで、音作りの幅がさらに広がります。

Related links:

[「ロータリースピーカー／アンプシミュレーター」 \(16 ページ\)](#)

プログラム

フロントパネルの中央に位置するプログラムセクションは、プログラムのロードとストア、ライブモード、トランスポーズ機能といった、パフォーマンスに関するさまざまな機能へのアクセスを提供します。

プログラムセクションには各種メニューへのアクセスも含まれており、ここからペダルや MIDI に関する設定、オーディオ出力のルーティングなどを始めることができます。

Related links:

[「プログラム」 \(18 ページ\)](#)

[「メニュー」 \(27 ページ\)](#)

エフェクト

ロータリースピーカー／アンプシミュレーターに加え、Nord Organ 3 はこれらのエフェクト群を備えています。

- **MODULATION** ユニット。伝説的な名機のモデリングに基づいた、フェイザー、トレモロ、コーラスなどの主要なモジュレーション系エフェクトを提供します。
- **EQUALIZER** ユニット。中音域の中心周波数を自由に設定できる、3バンドイコライザーです。
- **DELAY** ユニット。さりげないアンビエンスの生成から「スラップバック」効果、鳴りやむことのない音空間の創造に至るまで、あらゆる用途に使うことができます。
- **REVERB** ユニット。さまざまなアコースティックリバーブとスプリングリバーブを提供します。ロータリースピーカーの前後どちらにリバーブを配置するかは、**[SHIFT]>[PRE-ROTARY]** で切り替えます。Bright/Dark モードや Chorale オプションを使うと、さらなる雰囲気を演出できます。

Related links:

「エフェクト」(21 ページ)

ドローバー

Nord Organ 3 はアッパーとロワー、2 つの手鍵盤にそれぞれ 2 セットのドローバーを備えています。

UPPER MANUAL B、**LOWER MANUAL A**、および 2 本 1 組からなる **BASS PEDAL** には、LED 表示を備えています。プログラムモードがオンである場合、またはプリセットが使われている場合、LED がドローバーセッティングを示します。

UPPER MANUAL A と **LOWER MANUAL B** は常に実際のドローバー位置のとおりに動作します。

Related links:

「ドローバーと LED 表示」(10 ページ)

3 始めましょう

この章では一般的なシナリオとタスクを通じ、Nord Organ 3 の基本的な機能を段階的に説明します。

電源を入れる

- 付属の電源コードで Nord Organ 3 本体をコンセントに接続します。
- Nord Pedal Keys 25 を使う場合は、付属の MIDI ケーブルで Nord Pedal Keys 25 の **[MIDI OUT]** と Nord Organ 3 の **[BASS PEDAL]** とを接続します。
- スウェルペダルを使う場合は、Nord Organ 3 の **[SWELL PEDAL]** 端子に接続します。
- モニターするには **[HEADPHONES]** 端子にヘッドホンを接続します。PA 機器で鳴らすには **[LEFT OUT]** 端子と **[RIGHT OUT]** 端子を使います。
- 必ずほかの機器よりも先に Nord Organ 3 の電源を入れるようにしてください。音量にご注意ください。

Nord Organ 3 は **[BASS PEDAL]** 端子からファンタム電源を供給できます。そのため、Nord Organ 3 と Nord Pedal Keys 25 の組み合わせでは、足鍵盤側に別途電源アダプターを用意する必要がありません。

Related links:

「接続端子」 (31 ページ)

パネル上の操作子

ドローバー



Nord Organ 3 のドローバーは、物理的なスライダーからなります。

パネル中央のドローバーには LED がついており、現在のセッティングを視覚的に表示します。

実機と同じように、ドローバーにおけるゼロポジションはノブを奥いっぱいに押し込んだ位置です。値を大きくするには、ノブを手前に引き出します。

ノブ



Nord Organ 3 のほとんどのパラメーターは、ポテンショメータータイプのノブを使って設定します。ほとんどの場合、プログラムをロードした直後のパラメーターはノブが物理的に示す値と一致しません。ノブを少しでも回すと、設定値はすぐに追従します。

TIP: 設定値に影響を与える前に現在の設定値の確認のみを行うには、**[SHIFT]** ボタンを押しながらノブを回します。

ダイアル



Nord Organ 3 では、**[PROGRAM]** のように 360° 回し続けられるタイプのノブを「ダイアル」と呼びます。メニューを遷移したり、プログラムやパラメーターを選択したりするために使います。

セレクター ボタン



セレクター ボタンは、いくつかの候補から単一の設定を選択するための操作子です。現在の設定を示す円形または三角形の LED が付いています。ボタンを押すごとに設定が切り替わります。

オン／オフボタン



[ON/OFF] ボタンは機能または機能のグループを有効化／無効化するために使います。ボタンの上には、オン／オフ状態を示す LED がついています。

ボタンの長押し



TRANSPOSE [ON/SET ▼] のように下向き矢印 (▼) を伴ったボタンでは、0.5 秒程度長押しすることで別の機能にアクセスしたり、追加の設定を行ったりすることができます。

シフトボタン



Nord Organ 3 に備わったパネル操作子の多くは、ラベル下段に示されるもうひとつの機能を持っています。これらには、**[SHIFT]** ボタンを押しながらノブやボタンを操作することでアクセスできます。

TIP: ほとんどのシフト機能は、対応するボタンを 1 秒程度長押しすることでも使えます。

Shift ボタンは **[EXIT]** ボタンとして、メニューを閉じたり操作をキャンセルしたりする時にも使います。

マスター・レベル・ノブ

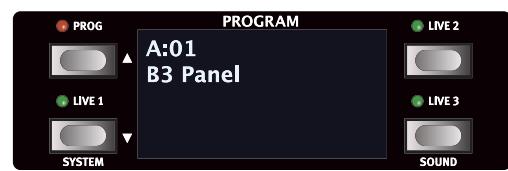


[MASTER LEVEL] ノブはそれぞれの端子から出力される、本全体の音量レベルを制御します。ほかのパネル操作子と異なり、このノブの値は個別のプログラムにストアされません。Nord Organ 3 は常にこのノブが示すとおりの音量で出力します。

ソフトボタン

特定のメニュー・操作では、ディスプレイの両脇に設定項目への見出いや実行できるコマンドが表示されます。これらの「ソフトボタン」には、**[PROG]** ボタンと **[LIVE 1]-[LIVE 3]** ボタンでアクセスします。

プログラム



パネルの中央には、OLED ディスプレイを備えたプログラムセクションがあります。

プログラムには、Master Level を除くすべてのパラメーターの設定値が含まれます。Nord Organ 3 のプログラムメモリーは A-H の 8 バンクに分かれており、合計 400 個のプログラムを保存できます。

NOTE: 工場出荷時のプログラムは、Nord Web サイトからダウンロードできます。

プログラムを選択する

プログラムを選択する方法には次の 3 つがあります。

- **[Prog/Page ▲ / ▼]** ボタンを押す。
- **[PROGRAM]** ダイアルを回す。
- リストビューを使う。

NOTE: **[PROG/PAGE ▲ / ▼]** ボタンはメニュー画面上でページを切り替えるためにも使います。

[SHIFT] > [BANK ▲ / ▼] を押すと、プログラムを「バンク」単位で遷移できます。1 つのバンクには、50 のプログラムが含まれます。

Related links:

[「リストビュー」\(6 ページ\)](#)

リストビュー



プログラムを探す方法の 1 つに、「リストビュー」があります。

- 1) **[SHIFT]** を押しながら **[PROGRAM]** ダイアルを回すと、リストビューが開きます。
- 2) そのまま **[PROGRAM]** ダイアルを回すと、プログラムが次々に切り替わります。
- 3) リストビューを閉じるには、**[EXIT]** ボタンを押します。

プログラムモード



「プログラムモード」では、Nord Organ 3 はプログラムに保存されたドローバー位置を中央の LED 付きドローバーセットにロードします。ボタンをオフにすると Nord Organ 3 は、プログラムに保存されたドローバー位置を無視し、実際のドローバー位置どおりに動作する「パネルモード」に切り替わります。

これらのパネル機能は、プログラムモードとパネルモードのそれぞれで別々の状態を持ちます。

- アッパーとロワーそれぞれのオン／オフ状態を含む、**VIBRATO/CHORUS** 関連の設定群。
- [B3 CLICK]** 設定。
- BASS PEDAL** 設定群。
- PERCUSSION** 設定群。
- 選択されている **USER** ベースモデル。

TIP: プログラムモードのオン／オフ状態はプログラムごとに保持されます。これを活かして、「あるプログラムではドローバーのセッティングを含めてロードするが、別のプログラムでは音作りの設定だけをロードする」と使い分けることができます。

プログラム 「Nord B3」

工場出荷時の状態では、Nord Organ 3 は起動するたびにプログラム「Nord B3」をロードします。このプログラムはほかのプログラムと異なる、次の特徴を持ちます。

- このプログラムは、常に B3 オルガンモデルと B3 ベースモデルを選択した状態でロードされます。
- このプログラムは、常にパネルモードでロードされます。
- このプログラムはロードされる時、ロータリースピーカーのパラメーターをすべて既定の値にリセットします。
- このプログラムは、読み取り専用です。上書きや、ロケーションの変更はできません。

言い換えると、Nord B3 は「前回のプレイで残された設定にかかわらず、使い始めに適したセッティングに復元する」読み取り専用のプログラムです。この特徴は、複数のオルガニストが共用するスタジオ備品やレンタル機材のような個体において特に有用です。

TIP: 起動する時にロードするプログラムは、「Nord B3」と「最後に電源を切った時にロードされていたプログラム」の 2 つから選べます。この設定は System メニューの最初のページにあります。

Related links:

- 「プログラムモードとパネルモード」(3 ページ)
- 「Start with “Nord B3”」(27 ページ)

プログラムを編集する

プログラムの編集は、ノブを回したりボタンを押したりするだけができる簡単な操作です。実際にやってみましょう。

- プログラム A:01 B3 Panel を選びます。ここで、ほかのファクトリープログラムと異なり **[PROG MODE]** がオフになっている、つまりパネルモードであることに注目してください。
- B3 Panel はロータリースピーカーを使ったプログラムです。Nord Organ 3 のロータリースピーカーエミュレーションには、その特性を調整するためのいくつかのパラメーターがあります。試しに **[MIC POS]** ボタンを何度か押してみて、それぞれの設定で回転の聞こえ方がどのように変わるかを感じ取ってみましょう。
- オーバードライブについてもさまざまな操作を試しましょう。まず **[DRIVE AMOUNT]** ノブを少し右に回します。**[DRIVE TYPE]** ボタンを押すごとに、サウンドの特性が変化するはずです。Drive Amount を 0 にすると、オーバードライブは完全にオフになります。

TIP: Sound メニューには、スロー／ファストそれぞれの回転速度、スロー／ファストの切り替わりにかかる時間、トレブルホーンとベースローターのバランスといった、ロータリースピーカーのサウンドを細かく調整するための設定項目が多数あります。

NOTE: パネル上のいずれかのパラメーターを変更するとプログラム番号の隣に「E」インジケーターが現れます。これは、「プログラムが変更された (edited) もの」の、メモリーへのストア操作はまだ行われていない、という状態を示します。ストア操作を行う前に別のプログラムを選ぶと、編集していた内容は失われてしまいます。

メモリープロテクトをオフにする

誤って元のプログラムを上書きしてしまうことを防ぐために、工場出荷時の Nord Organ 3 はメモリーが保護されています。メモリープロテクトは System メニューでオフにできます。

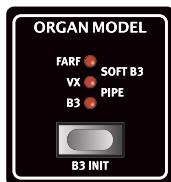
- [SHIFT] > [SYSTEM]** を押して、System メニューを開きます。
- メモリープロテクションはメニューの 1 番目の項目です。もしディスプレイが別の設定項目を示している場合は、Memory Protect 設定が表示されるまで **[PROG/PAGE ▲]** ボタンを押します。
- [PROGRAM]** ダイヤルを回して、Off に設定します。
- [EXIT]** ボタンを押して、メニューを閉じます。

NOTE: ここで設定した内容は、次に変更されるまで永続的に保存されます。ほかのシステム設定も同様です。

Related links:

「メニュー」(27 ページ)

オルガンモデルを選択する



- 1) **[ORGAN MODEL]** セレクトボタンを押して、**B3** モデルを選択します。
- 2) オルガンレジストレーションを調整するには、ドローバーを使います。
- 3) 次は **VX** モデルを選んでみましょう。このモデルでは、右端のドローバーが音色の最終的なキャラクターをつかさどります。奥に押し込むとフルーツのような柔らかい音に、手前に引き出すとリード管のような硬い音に、半分で止めるとこの 2 つのレジスターを半分ずつミックスした音になります。右から 2 番目のドローバーは、**Vx** モデルでは使いません。
- 4) 次は **FARF** モデルを選んでみましょう。このモデルでは、ドローバーをロッカースイッチとして使います。奥に押し込むとそのフッテージをオフに、手前に引き出すとそのフッテージをオンにします。

ベースモデルを選択する



ベースモデルには、**B3**、**TRK**、**VX|FARF**、**PIPE**、および **USER** の 5 種類があります。

オルガンモデルとベースモデルはそれぞれ個別に選べます。実機と同じセットアップを再現することも、好みの組み合わせで演奏することも、自由にできます。

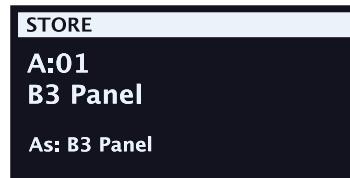
User 以外のベースモデルでは、それぞれに便利かつクリエイティブな「オルタネートモデル」が用意されています。オルタネートモデルを選ぶには、**[SHIFT] > BASS MODEL [ALT-NATE]** を押します。User ベースモデルが選ばれている状態で **[SHIFT] > BASS MODEL [ALTERNATE]** を押すと、Sound メニューの Bass User Preset 設定が開きます。

エフェクトをかける

- 1) **REVERB [ON]** ボタンを押して、リバーブをオンにします。
- 2) **[REVERB]** セレクター ボタンを押して、リバーブタイプを選びます。
- 3) **[AMOUNT]** ノブでバランスを調整します。
- 4) **[SHIFT] > [PRE-ROTARY]** を押して、Pre-Rotary 設定をオンにします。リバーブをロータリースピーカーの前に配置する、つまりリバーブのウェット音ごとロータリースピーカーに入力することで、サウンドにどのような変化が生じるのかを感じ取ってみましょう。
- 5) **DELAY [ON]** ボタンを押して、ディレイをオンにします。
- 6) **[TEMPO]** ノブ、**[FEEDBACK]** ノブ、および **[AMOUNT]** ノブを試しましょう。ディレイエフェクトの特性やかかり具合がさまざまに変わります。

プログラムをストアする

- 1) プログラムのストア操作を始めるには、ディスプレイの左側にある **[STORE]** ボタンを押します。
- 2) LED が点滅し、プログラムをどのロケーションにストアするかを尋ねるメッセージがディスプレイに表示されます。



- 3) 編集したプログラムで現在のプログラムを上書きする場合は、もう一度 **[STORE]** ボタンを押します。
- 4) この時、選択したプログラムが一時的にロードされます。新しいサウンドで上書きする前に試奏することができます。
- 5) **[PROGRAM]** ダイアルや **[PROG/PAGE ▲ / ▼]** ボタンを使うと、保存先を指定できます。もう一度 **[STORE]** ボタンを押すと、プログラムは指定したロケーションにストアされます。
- 6) ストア操作を中止するには、**[EXIT]** ボタンを押します。

ライブモード

3 つのライブプログラムではほかのプログラムとは異なり、すべての編集が即座に保存されます。手動でストア操作を行う必要はありません。

- 1) **[LIVE 1]–[LIVE 3]** ボタンを押します。
- 2) エフェクトのオン／オフなどの変更を加えます。
- 3) 別のプログラムを選択してから、先ほど編集したライブプログラムに戻ります。

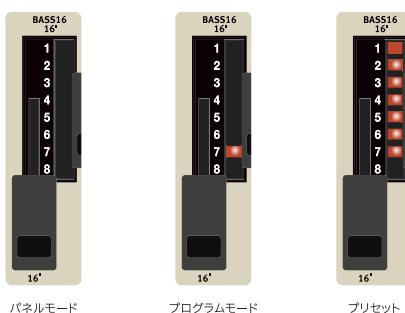
- 4) 編集が自動で保存されていることを確認できたら、
【PROG】ボタンを押してライブモードを終了します。

ライブプログラムは必要に応じて、ライブプログラム用の 3
つから離れ、レギュラープログラムバンクの適当なロケー
ションを選んでストアすることができます。

反対に、ストア操作の Store Program To 画面で **[LIVE 1]-[LIVE
3]** ボタンを押すことで、ライブプログラムをストア先のロケー
ションに指定することもできます。元がレギュラープログラ
ムであっても、ライブプログラムとしてストアされてからは、
すべての編集が即座に保存されるようになります。

4 オルガンモデルとベースモデル

ドローバーと LED 表示



UPPER MANUAL B、LOWER MANUAL A、および 2 本 1 組からなる BASS PEDAL には、LED 表示を備えています。

Nord Organ 3 本体全体に保存されたプリセットを使っているあいだは、ドローバー位置までのすべての LED が点灯します。プログラムモードでは、ドローバー位置の LED のみが点灯します。パネルモードでは、すべての LED が消灯します。

UPPER MANUAL A と LOWER MANUAL B は常に実際のドローバー位置のとおりに動作します。

LED 表示がない側のドローバーがフォーカスされているあいだは、ドローバー LED の点灯が暗くなります。

プリセット



Nord Organ 3 には、プログラムとは別にアッパー・マニュアルに 3 つ、ローワー・マニュアルに 3 つの「プリセット」枠があります。プリセットは Nord Organ 3 本体全体で共通です。したがって、どのプログラムからもプリセットボタンのワンタッチで即座に呼び出すことができます。

プリセットはオルガンモデルごとに個別に保存されます。つまり、B3、Vx、Farf、Soft B3、および Pipe のそれぞれについて、アッパー・マニュアルに 3 つ、ローワー・マニュアルに 3 つのプリセットを持つことができるということです。

NOTE: プリセットへの変更は、ほかのすべてのプログラムに影響を及ぼします。ロードされるたびに同じサウンドであることを確実にしたいプログラムは、プリセットを使わずに、かつプログラムモードをオンにした状態でストアすることをおすすめします。

プリセットを編集する

プリセットを編集するには、編集したいプリセット番号に応じたボタンを押しながらドローバーノブを動かします。プリセットは自動的に保存されます。手動でのストア操作は必要ありません。

プログラムモード



「プログラムモード」では、Nord Organ 3 はプログラムに保存されたドローバー位置を中央の LED 付きドローバーセットにロードします。ボタンをオフにすると Nord Organ 3 は、プログラムに保存されたドローバー位置を無視し、実際のドローバー位置どおりに動作する「パネルモード」に切り替わります。

これらのパネル機能は、プログラムモードとパネルモードのそれぞれで別々の状態を持ちます。

- ・ アッパーとロワーそれぞれのオン／オフ状態を含む、**VIBRATO/CHORUS** 関連の設定群。
- ・ **[B3 CLICK]** 設定。
- ・ **BASS PEDAL** 設定群。
- ・ **PERCUSSION** 設定群。
- ・ 選択されている **USER** ベースモデル。

ドローバーシンク

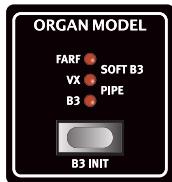
[SHIFT] > [DB SYNC] を押すと、プログラムモード側のセッティングを現在のドローバー位置で上書きします。

プログラムモードで動作している場合、ドローバーシンク処理はドローバー位置にのみ作用します。

パネルモードで動作している場合、ドローバーシンク処理はこれらのパネル機能にも作用します。

- ・ アッパーとロワーそれぞれのオン／オフ状態を含む、**VIBRATO/CHORUS** 関連の設定群。
- ・ **[B3 CLICK]** 設定。
- ・ **BASS PEDAL** 設定群。
- ・ **PERCUSSION** 設定群。
- ・ 選択されている **USER** ベースモデル。

Nord Organ 3 に搭載されているオルガンモデル



Nord Organ 3 はこれら 5 つのオルガンモデルを備えています。

- **B3** トーンホイールオルガンモデル。
- **VX** と **FARF**、2 つのトランジスターオルガンモデル。
- **SOFT B3** トーンホイールオルガンモデル。
- **PIPE** オルガンモデル。

Related links:

「ロータリースピーカー」(16 ページ)

オルガンモデルを選択する

[ORGAN MODEL] セレクターで、使用するオルガンモデルを選択します。

オルガンモデルとベースモデルはそれぞれ個別に選べます。実機と同じセットアップを再現することも、好みの組み合わせで演奏することも、自由にできます。

Related links:

「ベースモデル」(14 ページ)

イニシャライズ

[SHIFT] > [B3 INIT] を押すと、プログラムを一般的な B3 の初期状態にすばやくセットアップできます。B3 Init コマンドを実行すると、オルガンモデルとベースモデルに B3 が選ばれ、ロータリースピーカーに既定の設定が適用され、エフェクトがすべてバイパスされます。

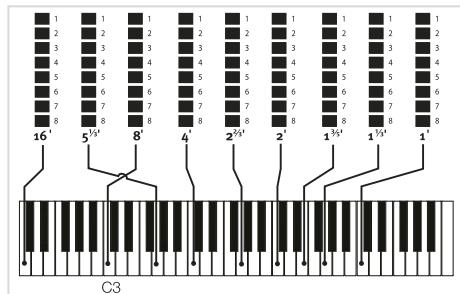
B3 モデル

B3 モデルはクラシックな電気機械式トーンホイールオルガンに基づくデジタルモデリングです。このシミュレーションは先進的かつ高度な方法により、オリジナルの B3 実機のサウンドのあらゆるニュアンスをとらえています。ここにいくつかの例を示します。

- ビブラート/コーラススキャナーのきわめて正確な再現。
- フットペダルごとに生じるキークリックのモデリング。
- サウンドの「ボディ」を形作る、内蔵プリアンプ特有の周波数特性。

- 絶妙な「コンプ感」を得る、トーンホイール上のエネルギーの減衰。
- 実機の設計に基づいた本格的なトーンホイールチューニング。
- きわめて速いキーボードレスポンス。
- フルポリリフォニー。

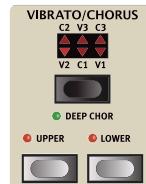
ドローバー



B3 モデルにおけるそれぞれのドローバーの機能は、ドローバー LED の下に印字されています。演奏されたキーに対してどの倍音成分を付加するかは、ドローバーごとに決まっています。

この図は、C3 を弾いたときに発音する倍音列を鍵盤上に表したもので、5+1/3 フィートのドローバーは、実際には基音(8 フィート)の 5 度上に対応しているにもかかわらず 8 フィートより左側に配置されています。これは 5+1/3 フィートの音程が、8 フィートよりもむしろ 16 フィートと密接な関係を持つ(整数次倍音にあたる)ことによります。

ビブラート/コーラス



実機に搭載されていたビブラート/コーラスは、変調のかかったディレイ回路と回転するスキャナーとの組み合わせからなるものでした。ビブラートエフェクトの場合、信号全体に位相のズレが加わります。コーラスエフェクトの場合、位相ズレのかかった信号が元の信号に追加されます。

3 種類の異なるタイプのビブラート (V1-V3) と 3 種類の異なるタイプのコーラス (C1-C3) が利用できます。エフェクトを使うかどうかは、アッパーとロワーで独立して設定できます。

[SHIFT] > [DEEP CHOR] をオンにすると、コーラス効果にかかる変調が強まります。「非ディープ」設定とディープ設定の差は、実機の初期ロットと後期ロットの違いを再現しています。

NOTE: ロワーマニュアルのビブラート/コーラス設定はベースペダルにも適用されます。

パークッシュン



PERCUSSION [ON] をオンにすると、第 2 倍音もしくは第 3 倍音によるアタック音を、B3 サウンドに追加できます。

パークッシュンは **UPPER MANUAL B** がフォーカスされているときにのみ有効です。

パークッシュンの発音とポリモード

キーを押すとエンベロープがわずかな時間「開き」ます。パークッシュンは単一のトリガーで発音される、ノンレガートなサウンドです。ここで「単一」を強調したとおり、パークッシュンはほかの音が鳴っていない状態から打鍵したときにのみ発音します。言い換えれば、何らかの音やコードを演奏して、そのキーから指を離さずに次の音を演奏した場合、その新しい音に対してはパークッシュンが発生しません。パークッシュン効果を得るには、いったんすべてのキーを放してから新しく弾く必要があります。

TIP: [SHIFT] > [POLY] でオンにできる Poly モードでは、パークッシュンがポリフォニックになります。既に押されているキーの数に関係なく、パークッシュンアタックがすべての新しい打鍵に対して発音します。

パークッシュン設定

[VOLUME] ボタンを押すと、パークッシュンの音量が Normal と Soft の間で切り替わります。それぞれのボリュームは Sound メニューで微調整できます。

[DECAY] ボタンを押すと、パークッシュンの減衰の速さが Slow と Fast の間で切り替わります。それぞれのディケイタイムは Sound メニューで微調整できます。

[HARMONIC] ボタンを押すと、第 2 倍音と第 3 倍音のどちらをパークッシュンに使うかが切り替わります。

オリジナルの B3 実機では、パークッシュンをオンにすると 9 番ドローバーのサウンドがミュートされる仕様でした。Nord Organ 3 では **[SHIFT] > [DB9 CANCEL]** をオン／オフすることで、このふるまいを再現するかどうかを切り替えることができます。DB9 Cancel をオフにすると、パークッシュンと 9 番ドローバーのサウンドを同時に鳴らすことができるようになります。

キークリック



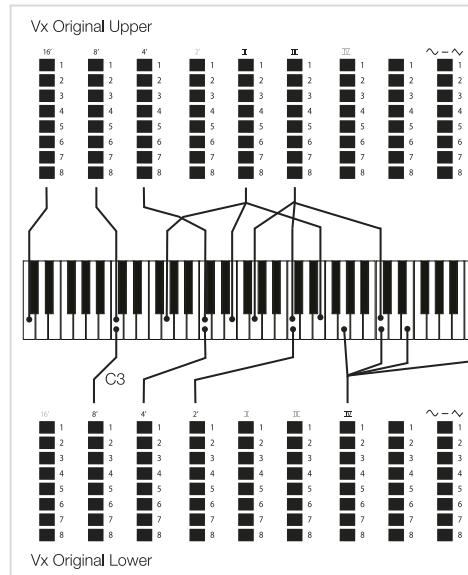
オリジナルの B3 実機では、接点が触れた時のランダムな微振動のために、発音のアタック部分にノイズが生じていました。しかしユーザーの間では、この「キークリック」は楽器の持ち味として好まれました。

[B3 CLICK] ボタンを押すと、キークリックの強さが変わります。値を大きくするほどキークリックの発音は強くなります。

Vx モデル

Vox は、1960 年代初頭のトランジスターによるコンボオルガンの中でおそらく最も有名なオルガンです。トランジスター技術により、コンパクトで持ち運びのできるオルガンの製造が可能になりました。トーンホイールオルガンの力強い響きに比べると、これらのサウンドは一般的にリード楽器のような癖と線の細さを持っていました。しかしこの独特的なキャラクターが好まれ、可搬性も相まってたいへんな人気を博すに至りました。

ドローバー



Vox モデルにおけるそれぞれのドローバーの機能は、ドローバー LED のすぐ上に印字されています。

左側の 7 つのドローバーはそれぞれの倍音成分のレベルを制御します。この図は、C3 を弾いたときに発音する倍音列を鍵盤上に表したもので、オリジナルの Vox 実機ではアッパー用とロワー用で異なるドローバーセットが用意されていましたが、Nord Organ 3 では共通のセットにまとめています。

右端のドローバーはフィルターをかけた暗く柔らかいサウンドと、フィルターのかかっていない明るく鋭いサウンドとのミックスの割合を制御します。

ビブラート

Vox モデルでは **VIBRATO/CHORUS [UPPER/LOWER]** ボタンを押して、3 種類の中から 1 つのタイプのビブラートを使うことができます。V3 が実機をモデルにしたものです。

Vox モデルでは、ビブラートの設定やオン／オフ状態がアッパー＆マニュアルとロワーマニュアルで共有されます。

Related links:

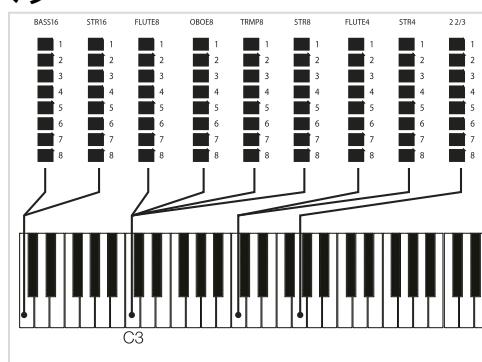
「ドローバーと LED 表示」(10 ページ)

Farf モデル

このビンテージ楽器のブザーのようなサウンドは、これまでに製造されたオルガンの中で最も特徴的なもの、わかりやすいもののひとつです。しかしその実、この楽器からは非常に幅広いサウンドが飛び出します。

ボイスを示すラベルには Flute、Oboe、Trumpet などとありますが、オリジナルの Farf is 実機はこれらの楽器を直接再現しているわけではありません。ラベルへの表記は Flute – 柔らかい、Oboe – リード楽器のような、Trumpet – 金管楽器のような、といった、音の雰囲気を説明するためにあります。

レジスター



Farf モデルにおけるそれぞれのドローバーの機能は、ドローバー LED の上、2 行あるうちの上側の行に印字されています。

Farf モデルが選ばれているとき、ドローバーはオン／オフスイッチ、すなわち「レジスター セレクター」として動作します。オリジナルの Farf is 実機の音作りは、どのボイス（実際にはフィルターの設定のバリエーション）をどのオクターブで組み合わせるかをロッカースイッチで選ぶものでした。

ドローバーを半分以上引き出すとそのレジスターがオンになります。オンにされているボイスは手前半分のドローバー LED の点灯、オフにされているボイスは奥半分のドローバー LED の点灯によって示されます。

ドローバー	ボイス	パネル名
1	Bass 16	BASS16
2	Strings 16	STR16
3	Flute 8	FLUTE8
4	Oboe 8	OBOE8
5	Trumpet 8	TRMP8
6	Strings 8	STR8
7	Flute 4	FLUTE4
8	Strings 4	STR4

ドローバー	ボイス	パネル名
9	1 オクターブと 5 度上の明るいボイス	22/3

ビブラート／コーラス

実機では、*Light* と *Heavy*、2 つのビブラートモードを 2 つの速度設定とともに備えていました。Nord Organ 3 の Farf モデルにはビブラートとコーラスのタイプが 2 つずつ搭載されています。VIBRATO/CHORUS [UPPER/LOWER] ボタンを押すと、ビブラート／コーラスがオンになります。V1、V2、および C3 が実機のモデリングです。

Farf モデルでは、ビブラート／コーラスの設定やオン／オフ状態がアッパーマニュアルとロワーマニュアルで共有されます。

ソフト B3 モデル

「B3 系のサウンドを使いたいが、キークリックやその他の雑味を混ぜたくない」といったシナリオでは、**SOFT B3** オルガンモデルが最適な選択肢になり得ます。Soft B3 モデルにおけるドローバーとフッテージの対応は、B3 モデルのそれとまったく同じです。

Soft B3 ではフロントパネル上のキークリックとパーカッションに関する設定が無効化されます。

パイプモデル

PIPE オルガンモデルは、一般にパイプオルガンの中心をなす、「プリンシパル」タイプの金属パイプ列（ランクとも呼びます）を忠実に再現しています。ほかのランクでは既存の楽器（フルート、トランペット、弦楽器など）の音を再現しようとする場合もありますが、プリンシパル族のサウンドは模倣的ではなく、オルガンに固有のものです。

Pipe モデルで利用可能なパイプの長さは B3 モデルのものと同じで、16 フィートから 1 フィートまでの範囲です。

ビブラート／コーラス

Pipe オルガンモデルで VIBRATO/CHORUS をオンにすると、オルガンモデルのピッチがやや甘くなります。これにより、コーラスのような効果やわずかなズレが生じ、レジスターを組み合わせたときのリアルさが増します。

ベースモデル



それぞれのオルガンモデルには、対応するベースモデルがあります。ベースモデルは **BASS PEDAL** ドローバーで音作りを行います。

オルガンモデルとベースモデルはそれぞれ個別に選べます。実機と同じセットアップを再現することも、好みの組み合わせで演奏することも、自由にできます。

[SHIFT] > [ALTERNATE] をオンにすると、現在選択されているモデルのオルタネートモデルが選ばれます。

B3、Farf、Pipe、および Soft B3 ではベースはポリフォニックであり、複数の音を同時に鳴らすことができます。Trk、Vx、および User ではベースはモノフォニックであり、単音しか鳴らせません。ただし **BASS PEDAL [SUSTAIN]** をオンにすると、どのベースモデルを選んでいてもモノフォニックになります。

B3 ベースモデル

Nord Organ 3 の標準の B3 ベースモデルは、実機ユーザーの間で広く行われてきた改造に基づいています。これは特定の倍音を 8 フィートドローバーから取り除くというもので、特に 16 フィートドローバーと組み合わせたときのサウンドをより鋭くクリアなものにします。

B3 オルタネートベースモデル

B3 オルタネートモデルでは、8 フィートドローバーに対する改造が施されていないベースサウンドをシミュレートします。

Vx ベースモデル

Vx ベースモデルでは、左側のドローバーはベースサウンドの音量を、右側のドローバーは柔らかいサウンドと硬いサウンドとのバランスを制御します。右側のドローバーを奥いっぱいに押し込むと柔らかいサウンドのみが、手前いっぱいに引き出すとほとんど硬いサウンドのみが鳴ります。

Vx モデルはモノフォニックです。また 16 フィートのみになります。

Farf ベースモデル

Farf ベースモデルでは、左側のドローバーはベースサウンドの音量を、右側のドローバーは柔らかいサウンドと硬いサウンドのどちらで鳴らすかを制御します。

Farf モデルは 16 フィートのみになります。

Trk ベースモデル

Trk ベースモデルは、実機ユーザーの間で広く普及していたシンセベースモジュールのサウンドをシミュレートします。これは B3 オルガンに改造の一環として取り付けられていました。左側のドローバーは 16 フィートの、右側のドローバーは 8 フィートの成分を制御します。

Trk オルタネートベースモデル

Trk ベースモデルのオルタネート版は、オリジナルの Trk 実機における Pluck ノブを絞ったときの、アタックがなめらかになったサウンドをシミュレートします。

Pipe ベースモデル

Pipe ベースモデルでは、左右のドローバーが 16 フィートと 8 フィートそれぞれのプリンシパル管に対応します。

ソフト B3 ベースモデル

Soft B3 ベースモデルは Soft B3 オルガンモデルと同じく、キークリックのないソフトなサウンドをもたらします。左側のドローバーは 16 フィートの、右側のドローバーは 8 フィートの成分を制御します。

ユーザーベースモデル

Nord Organ 3 はベースモデルセレクターに「User 枠」を備えています。ここにはさまざまなプリセットから好みのものを 1 つだけ選んで登録できます。選択肢は定番のベースシンセサイザーサウンドからアップライトベース風のサウンド、レゾナンスの効いたサウンド、ストリングス風のサウンドに至るまで、多岐にわたります。

User 枠でどのサウンドを登録しておくかは、パネルモード（本体全体で共通）とプログラムモード（プログラムごとに個別）でそれぞれ別に保持できます。

ユーザーベースプリセット設定

User ベースモデルを選択しているときに **[SHIFT] > [ALTERNATE]** を押すと、Sound メニューの Bass User Preset ページが開きます。メニューを閉じるには、Exit ボタンを押します。

Related links:

「プログラムモードとパネルモード」(3 ページ)

「Bass User Preset」(30 ページ)

サステイン



[SUSTAIN] を 1-3 のいずれかに設定すると、ベースサウンドに余韻が加わります。Sustain をオンにすると、どのベースモードであってもモノフォニックになります。

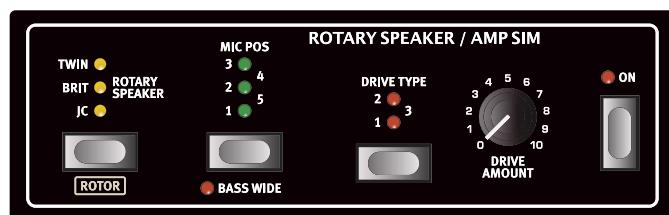
1 は比較的短めの余韻です。ベースサウンドのキーオフをソフトにしたり、フレーズをレガート演奏でなめらかに繋いだりしたいときに役立ちます。2 は中程度の余韻です。3 では、キーを放した後も弾いたサウンドが長く鳴り続けます。

NOTE: シンセサイザーの分野ではこのパラメーターを一般的に「リリース」と呼びますが、Nord Organ 3 ではオルガンやオルガンアクセサリーのメーカーが伝統的に使ってきた用例にならって「サステイン」と呼んでいます。

スウェルペダル

スウェルはオルガンの特徴的な機能のひとつです。スウェルは単なるボリュームコントロールではありません。特に B3 では、特別なはたらきによってサウンドの特性までもを変化させます。Nord Organ 3 でスウェルを使用するには、市販のエクスプレッションペダルをリアパネルの **[SWELL PEDAL]** 入力に接続し、メニューでペダルのタイプを設定します。

5 ロータリースピーカー／アンプシミュレーター



ロータリースピーカー

Nord Organ 3 のロータリースピーカーシミュレーションは、トレブルホーンおよびベースローターの回転によってもたらされるサウンドの変化だけでなく、内蔵アンプの特性までもを正確に再現します。

ロータリースピーカーを使うには、[ROTARY SPEAKER / AMP SIM] セレクター ボタンを押して、**ROTARY SPEAKER** を選びます。この時、3つすべての LED が点灯します。

TIP: [SHIFT] > [ROTOR] を押すと Sound メニューの Rotary Speaker ページが開きます。ここではロータリースピーカーの回転の速度や加減速にかける速度を調整できます。

Related links:

「Rotary Speaker」(30 ページ)

マイクポジション

Nord Organ 3 のロータリースピーカーシミュレーションは、ライブパフォーマンスやスタジオレコーディングで一般的に使われる、5種類のマイクポジションを備えています。

マイクポジション	説明
1 – Close	キャビネットの背面に、2本のマイクを狭い間隔で設置したときのシミュレーションです。
2 – Wide	キャビネットの背面に、2本のマイクを広い間隔で設置したときのシミュレーションです。
3 – 90°	キャビネット前面の角に、2本のマイクを 90° の角度をつけて設置したときのシミュレーションです。
4 – 180°	キャビネットそれぞれの側面にマイクを 1本ずつ、180° の角度をつけて設置したときのシミュレーションです。

マイクポジション	説明
5 – XY	キャビネット背面の中程度離れた位置に、2本のマイクを XY ステレオ構成で設置したときのシミュレーションです。

TIP: マイクポジションの設定はトレブルホーンのサウンドにのみ影響を及ぼします。

ベースワイド設定

ベースローターにはマイクポジションの代わりに、モノラル／ステレオからなる Bass Wide 設定が用意されています。

Bass Wide 設定をオンにすると 2つのマイクで集音したステレオサウンドに、Bass Wide 設定をオフにすると 1つのマイクで集音したモノラルサウンドになります。これらを切り替えるには、[SHIFT] > [BASS WIDE] を押します。

オーバードライブ

[DRIVE TYPE] セレクター ボタンを押すごとに、ロータリースピーカーのオーバードライブタイプが切り替わります。それぞれの選択肢で、特性と歪みの強さが異なります。

歪みの強さを調整するには、[DRIVE AMOUNT] ノブを回します。

Drive Type をオフにするとオーバードライブは適用されなくなり、Drive Amount ノブも効かなくなります。

オーバードライブを外部ロータリースピーカーにかける

外部ロータリースピーカーを使っている場合でも、Nord Organ 3 からオーバードライブをかけることができます。

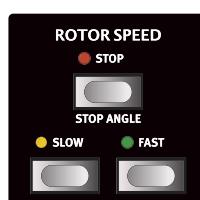
外部ロータリースピーカーにオーバードライブをかけるときは、ROTARY SPEAKER / AMP SIM セクションをオンに、ロータリースピーカー／アンプモデルを選んでいない（セレクター ボタンが消灯している）状態にします。Drive Type セレクターと Drive Amount ノブで調整します。

NOTE: [EXT. ROTARY SPEAKER] 端子および [HIGH LEVEL OUT] 端子から出力される信号には、ロータリースピーカーシミュレーションが適用されません。

Related links:

「Ext. Rotary Speaker と High Level Out」(31 ページ)

ロータースピード



ロータリースピーカーの回転速度を切り替えるには、ROTOR SPEED セクションの [SLOW] ボタン、[STOP] ボタン、または [FAST] ボタンを押します。

トレブルホーンとベースローターの加減速にかける時間、つまりスローとファストの切り替わりにかける時間は、Sound メニューの Rotary Speaker ページで調整できます。

ストップアングル

ROTOR SPEED [STOP] を押した時にどの角度でロータリースピーカーの回転を止めるかを固定するには、[SHIFT] > [STOP ANGLE] を押して Stop Angle モードをオンにします。

角度は Sound メニューの Stop Angle (Close) 設定で指定します。0° から 357° までの範囲から 3° 刻みで設定できます。

NOTE: Stop Angle (Close) メニュー設定は本体全体の設定として保存されるため、すべてのプログラムに共通して影響を及ぼします。

NOTE: Stop ポジションのときのサウンド特性は、現在のマイク ポジション設定によって変動します。

ローターコントロール

ロータリースピーカーの回転速度は、[ROTARY CTRL] 端子に接続したスイッチペダルや Half Moon Switch でも切り替えることができます。

TIP: スイッチペダルを使う場合、回転速度は「Slow または Stop」と Fast との間で切り替わります。Slow-Fast と Stop-Fast のどちらで動作するかは、最後に選択されていたのが Slow と Stop どちらだったかによります。

Related links:

「Horn Acceleration」(30 ページ)

「Rotor Acceleration」(30 ページ)

「Stop Angle (Close)」(30 ページ)

「Rotary Ctrl」(28 ページ)

Related links:

「Rotary Speaker」(30 ページ)

アンプシミュレーター

Nord Organ 3 の ROTARY SPEAKER / AMP SIM セクションは、ギターアンプシミュレーターも備えています。[DRIVE TYPE] ノブを回すとより強く歪み、オーバードライブ/ディストーションの効果を得ることができます。

アンプモデル	説明
JC	真空管アンプで増幅された Jazz Chorus スピーカーキャビネットをシミュレートします。
BRIT	イギリスのクラシックな真空管アンプヘッドと 4 × 12 スピーカーキャビネットの組み合わせをシミュレートします。
TWIN	クラシックなスピーカー付き真空管コンボアンプをシミュレートします。

オーバードライブ

アンプシミュレーションにオーバードライブをかけるには、Drive Type のいずれか 1 つが選択されている状態で [DRIVE AMOUNT] ノブを回します。

ロータリースピーカーに関するメニュー項目

フロントパネルの操作子に加えて、Sound メニューにもロータリースピーカーのサウンドを調整するための設定項目があります。ここにはトレブルホーンとベースローターそれぞれの加減速や、ホーンとローターのバランスなどが含まれます。

6 プログラム



フロントパネルの中央に位置するプログラムセクションは、プログラムのロードとストア、ライブモード、トランスポーズ機能といった、パフォーマンスに関するさまざまな機能へのアクセスを提供します。

プログラムセクションには各種メニューへのアクセスも含まれており、ここからペダルや MIDI に関する設定、オーディオ出力のルーティングなどを始めることができます。

Related links:

「メニュー」(27 ページ)

シフトボタン



多くのボタンといくつかのノブには、[SHIFT] を押しながらボタンを押したりノブを回したりすることでアクセスできる二次機能があります。シフト機能がある場合、対応するボタンやノブの下にはその機能の名前が印刷されています。たとえば、[SHIFT] を押しながら [LIVE 3] ボタンを押すと、Sound メニューが開きます。シフトボタンは [EXIT] ボタンとして、メニューを閉じたり操作をキャンセルしたりする時にも使います。

プログラムとは

Nord Organ 3 のプログラムは Master Level を除くすべてのパネル操作子、つまりオルガンモデル、ベースモデル、アッパー B ドローバー、ロワー A ドローバー、ペダルドローバー、およびその他の設定を含みます。

ここで重要なことは、プログラムには Prog Mode 設定も含まれるということです。ストアする時点で Prog Mode をオンにしていたプログラムをロードすると、Nord Organ 3 はプログラムに保存されたドローバー位置をただちに復元します。ストアする時点で Prog Mode をオフにしていたプログラムをロードすると、Nord Organ 3 は、プログラムに保存されたドローバー位置を無視し、実際のドローバー位置どおりに動作する「パネルモード」に切り替わります。

NOTE: アッパー A/B およびロワー A/B のドローバーフォーカスも、プログラムにストアされます。

System メニューおよび Sound メニューの設定は Nord Organ 3 本体に保存されます。Prog Mode がオンのときの Bass User Preset 設定を除き、個々のプログラムには含まれません。

プログラムダイアル



[PROGRAM] ダイヤルを 1 クリック分回すごとに、1 つ隣のプログラムがロードされます。ダイアルは、メニューを開いている時にパラメーターの値を変更したり、プログラム名を入力する時に文字を選択したりするのにも使います。

プログラムリスト

[SHIFT] を押しながらダイアルを回すと、プログラムリストが開きます。

リストビューを閉じるには、[EXIT] を押します。

プログラムとバンク

[PROG/PAGE ◀ / ▶] ボタンを押すごとに、1 つ隣のプログラムがロードされます。

[BANK ◀ / ▶] を押すと、プログラムを「バンク」単位で遷移できます。1 つのバンクには、50 のプログラムが含まれます。Nord Organ 3 は 8 つのバンクを備えています。

プログラム「Nord B3」

工場出荷時の状態では、Nord Organ 3 は起動するたびにプログラム「Nord B3」をロードします。このプログラムはほかのプログラムと異なる、次の特徴を持ちます。

- このプログラムは、常に B3 オルガンモデルと B3 ベースモデルを選択した状態でロードされます。
- このプログラムは、常にパネルモードでロードされます。
- このプログラムはロードされる時、ロータリースピーカーのパラメーターをすべて既定の値にリセットします。

- このプログラムは、読み取り専用です。上書きや、ロケーションの変更はできません。

言い換えると、Nord B3 は「前回のプレイで残された設定にかかるらず、使い始めに適したセッティングに復元する」読み取り専用のプログラムです。この特徴は、複数のオルガニストが共用するスタジオ備品やレンタル機材のような個体において特に有用です。

TIP: 起動する時にロードするプログラムは、「Nord B3」と「最後に電源を切った時にロードされていたプログラム」の2つから選べます。この設定は System メニューの最初のページにあります。

Related links:

「プログラムモードとパネルモード」(3 ページ)

「Start with “Nord B3”」(27 ページ)

ストア



[STORE] ボタンは、編集したプログラムを本体メモリーにストアする時に使用します。プログラムをストアすると、選択したロケーションにある既存のデータが上書きされます。

NOTE: 工場から出荷されたばかりの Nord Organ 3 は、プログラムが誤って上書きされることを避けるため、メモリーに保護をかけられています。プログラムをストアできるようにするには、System メニューで Memory Protect 設定をオフにする必要があります。

Related links:

「メモリープロテクトをオフにする」(7 ページ)

「Memory Protect」(27 ページ)

ライブプログラム

Nord Organ 3 には、アクセスしやすい「ライブプログラム」用のロケーションが3つあります。ライブプログラムではほかのプログラムとは異なり、すべての編集が即座に保存されます。手動でストア操作を行う必要はありません。ライブプログラムを選択するには、**[LIVE 1]–[LIVE 3]** ボタンのいずれかを押します。

ライブプログラムは必要に応じて、ライブプログラム用の3つから離れ、レギュラープログラムバンクの適当なロケーションを選んでストアすることができます。反対に、レギュラープログラムをライブプログラムのロケーションにストアすることもできます。

メニュー

[SHIFT] > [LIVE 1] を押すと System メニュー、**[SHIFT] > [LIVE 3]** を押すと Sound メニューが開きます。

System メニューには MIDI、ペダル、グローバルトランスポーズ、出力ルーティングやその他の設定が、Sound メニューには B3 オルガン、ロータリースピーカー、Bass User Preset などの設定が含まれます。

Related links:

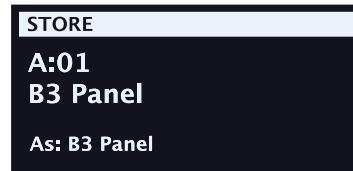
「System メニュー」(27 ページ)

「Sound メニュー」(29 ページ)

プログラムをストアする

プログラムを名前を変更せずにストアするには、次の手順に従います。

- [STORE]** ボタンを1回押します。LED が点滅し始め、ディスプレイにプログラムの名前とそのロケーションが表示されます。



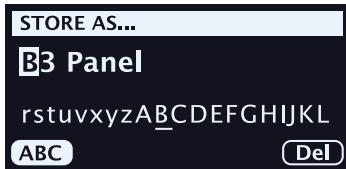
- [PROGRAM]** ダイアル、**[PROG/PAGE ▲ / ▼]** ボタン、**[BANK ▲ / ▼]** を使用して、ストア先のロケーションを選択します。**[LIVE 1]–[LIVE 3]** ボタンを押して、ライブプログラム用のロケーションを選択することもできます。
- もう一度 **[STORE]** を押して操作を完了します。

NOTE: ストア操作を中止するには、**[EXIT]** ボタンを押します。

別名でストアする

- プログラムを別名でストアするには、**[SHIFT] > [STORE AS...]** を押します。
- ABC** ソフトボタンを押し続けると、英数字の行が表示されます。そのあいだにダイアルを回すと、現在の位置の文字を選択できます。ボタンを放すとカーソルが次の位置に移動します。ダイアルを使って、カーソル

を自由に移動できます。**Del** ソフトボタンは現在選択されている文字を削除するために使用します。



- 3) **[STORE]** ボタンを押すと、Store Program To 画面が表示されます。**[PROGRAM]** ダイアル、**[PROG/PAGE ▲ / ▼]** ボタン、**[BANK ▲ / ▼]** を使用して、ストア先のロケーションを選択します。
- 4) もう一度 **[STORE]** を押して操作を完了します。

NOTE: プログラムはオルガンモデルに基づいて自動でカテゴリ化されます。

TIP: Nord Sound Manager 9 でもプログラムの名前を編集できます。

トランスポーズ



Nord Organ 3 は、プログラムごとに ± 6 半音の範囲、半音刻みでトランスポーズできます。トランスポーズを適用するには、**TRANSPOSE [ON/SET ▼]** ボタンを長押しして Transpose メニューを開き、**[PROGRAM]** ダイアルを回します。トランスポーズをオフにするには、ボタンをもう一度押します。トランスポーズ設定はプログラムの一部としてストア／ロードされます。

NOTE: すべてのプログラムに同じトランスポーズを適用したい場合には、System メニューの Global Transpose 設定を使用します。

Related links:

「Global Transpose」 (27 ページ)

MIDI インジケーター



Nord Organ 3 が **[BASS PEDAL]** 端子や **[MIDI IN]** 端子を通じて MIDI メッセージを受信すると、Transpose ボタンのすぐ上にある LED が点滅します。LED は USB 接続で MIDI メッセージを受信した時にも点滅します。

7 エフェクト



Nord Organ 3 は、オルガンサウンドの細かい調整や、よりクリエイティブな音作りに便利なエフェクトを、幅広く搭載しています。

ロータリースピーカー／アンプシミュレーターも Nord Organ 3 のエフェクトチェインの一部に含まれます。

Related links:

「ロータリースピーカー／アンプシミュレーター」(16 ページ)

エフェクトのかかり方を調整する

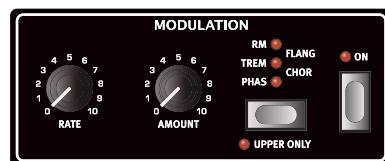
通常の設定では、ロータリースピーカー／アンプシミュレーターを含むすべてのエフェクトはオルガンサウンド全体にかかります。ただし、機能のオン／オフや出力端子によっては、その限りではありません。

- **BASS PEDAL [FX BYPASS]**。この機能がオンになっているあいだは、ベースペダルサウンドに一切のエフェクトがかかりません。
- **MODULATION [UPPER ONLY]**。この機能がオンになっているあいだ、モジュレーションエフェクトはアッパー・マニュアルにのみかかります。
- **DELAY [UPPER ONLY]**。この機能がオンになっているあいだ、ディレイエフェクトはアッパー・マニュアルにのみかかります。
- **[AUX OUT]** 端子。Aux Out は、オルガンサウンドの一部または全部を、一切のエフェクトをかけないまま Nord Organ 3 から取り出すための出力端子です。どのサウンドを **[AUX OUT]** 端子から出力するかは、Sound メニューで設定します。

Related links:

「Aux Out」(28 ページ)

モジュレーション



モジュレーション (MODULATION) ユニットでは、5 種類の変調系エフェクトが提供されます。これらはセレクター・ボタンを押して切り替えます。

[RATE] ノブはモジュレーションの周期 (速さ)、**[AMOUNT]** ノブはエフェクトの強さまたは深さを制御します。

アッパー・オ n りー設定

[SHIFT] > **[UPPER ONLY]** を押すと、アッパー・マニュアルにのみエフェクトをかけることができます。このときローワー・マニュアルとベースペダルからは、エフェクトのかからない、そのままのサウンドが出力されます。

フェイザー

フェイザー (PHASER) は LFO で位相を変調した信号を原音に加えることにより、特徴的な「シュワシュワ」サウンドを生み出します。Nord Organ 3 に搭載されているフェイザーは、「Small Stone」にインスピライされたものです。

トレモロ

トレモロ (TREM) は、出力信号のボリュームを連続的かつ周期的に変化させる変調です。

リングモジュレーション

リングモジュレーション (RM) は、2 つの信号を掛け合わせて、非整数倍音によるメタリックなサウンドを生み出す、変調の一一種です。Nord Organ 3 では、演奏したサウンドにサイクル波を掛け合わせます。

[RATE] ノブはサイクル波のピッチを制御します。

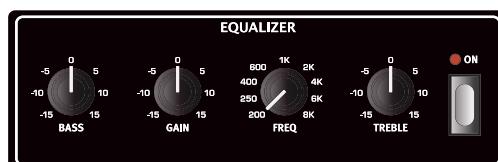
フランジャー

フランジャー (FLANGER) は、コムフィルター効果による、「ビューン」といった劇的なサウンドとレゾナンス特性を生み出します。

コーラス

コーラス (CHORUS) は、オーディオ信号に、変調をかけたコピーを複数ブレンドするエフェクトです。サウンドを「拡げる」効果を得る以外にも、極端な設定で大幅なデチューンを作り出すなど、さまざまな使い方ができます。

イコライザー

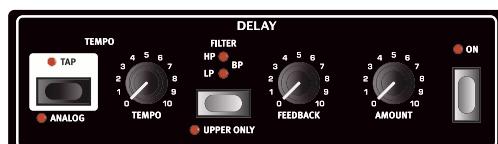


3バンドのイコライザー (EQUALIZER) です。

ベース (BASS) とトレブル (TREBLE) の周波数はそれぞれ 100 Hz と 4 kHz で固定されています。ミッド (MID) の周波数は [FREQ] ノブを使用して 200 Hz から 8 kHz までの範囲で設定できます。

ブースト/カットの範囲は ±15 dB です。

ディレイ



ディレイ (DELAY) ユニットはエコー/リピートの効果を生み出します。ディレイタイムは TEMPO [TAP] ボタンをタップする、または [TEMPO] ノブを回すことで設定します。

[FEEDBACK] ノブはディレイのリピート数、タップ数を制御します。最小の設定ではタップが 1 つだけ聞こえ、最大の設定では非常に長いフィードバックテールを作ります。

[AMOUNT] ノブは、ドライな信号とディレイサウンドとのバランスを調整します。

アップポートオーナリー設定

[SHIFT]>[UPPER ONLY] を押すと、アップポートオーナリーにのみエフェクトをかけることができます。このときローワーマニュアルとベースペダルからは、エフェクトのかからない、そのままのサウンドが output されます。

フィルター

フィルター (FILTER) は、ディレイ音を仕上げるための優れたツールです。これは特にディレイのフィードバック量が多い

場合に、より活躍します。ディレイタップはフィードバックすることにフィルターを通過し、その結果、ディレイ音は徐々に「こもったり」、徐々に「乾いたり」しながら連なることになります。

LP 設定では、ディレイタップはフィードバックすることにローパスフィルターを通過し、高周波成分を削られます。

HP 設定では、ディレイタップはフィードバックすることにハイパスフィルターを通過し、低周波成分を削られます。これは、長いディレイテールにおける音の濁りを低減するのに役立ちます。

BP 設定では、ディレイタップはフィードバックすることにバンドパスフィルターを通過し、高周波成分と低周波成分を削られます。その結果、細いサウンドになります。

テンポ

ディレイタイムを調整するには、[TEMPO] ノブを回します。ディレイタイムは 1.5 秒から 20 ミリ秒までの範囲で設定できます。

ノブを回した時のヒント表示には、bpm (beats per minute) 単位による値も含まれます。これは現在のディレイタイムを 4 分音符、8 分音符、または 16 分音符に見立てたときにどのくらいのテンポにあたるかを示したものです。

タップテンポ

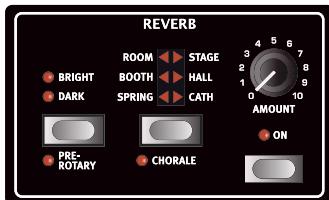
ディレイタイムはタップテンポでも設定できます。揃えたいたいテンポに合わせて TEMPO [TAP] ボタンを押すだけで、ディレイタイムが自動的に調整されます。

テンポの検出には最低 2 回のタップを必要とします。3 回以上押して、テンポを微調整することもできます。

アナログモード

ディレイには、ノーマル (非アナログ) とアナログ、2 つのモードがあります。アナログモードでは、ビンテージアナログディレイと同じように、ディレイ音が鳴っているあいだに Tempo ノブを回すとディレイ音のピッチも変わります。さらに、フィードバックフィルター設定の特性も、ノーマルモードの場合とはわずかに異なるものになります。アナログモードでは、フィードバックすることにわずかな歪みが発生します。これは特にフィードバック回数が多い場合により顕著に表れます。

リバーブ



リバーブ (REVERB) ユニットはさまざまなアコースティック環境における残響とスプリングリバーブをシミュレートします。

リバーブタイプ

6種類の異なるリバーブタイプを選べます。

- **SPRING** : トーンホイールオルガン、ギター・アンプ、その他多くの種類の機器に搭載されてきた、クラシックなスプリングリバーブのシミュレーションです。
- **BOOTH** : 非常に短い減衰時間を持つ、小さな部屋のミュレーションです。
- **ROOM** : 比較的短い減衰時間を持つ、中程度の広さの部屋のミュレーションです。
- **STAGE** : 中程度の減衰時間を持つ、屋内の自然なアンビエントです。
- **HALL** : 長い減衰時間を持つ、広々としたホールのような響きです。
- **CATH** (Cathedral) : 非常に長い減衰時間と没入感を持ったリバーブです。

ブライト/ダークモードとコラール設定

BRIGHT モードまたは **DARK** モードを使用すると、リバーブの周波数特性を変更できます。これはすべてのタイプで有効です。Bright に設定すると低周波成分をわずかに削り、Dark では代わりに高周波成分を削ります。

CHORALE 設定をオンにすると、リバーブ信号に与えられるピッチ変調が大きくなり、より強い存在感と効果を持ったサウンドになります。

プリロータリー設定

PRE-ROTARY 設定をオンにすると、リバーブエフェクトはロータリースピーカーの手前に配置されます。このときのサウンドは、リバーブ（特にスプリングリバーブ）を備えたオルガンをロータリースピーカーに接続する、伝統的なセットアップに相当します。

一方 Pre-Rotary をオフにすると、Nord Organ 3 は室内に置いたロータリースピーカーとその残響とを一緒に集音したときに相当するサウンドを出力します。

8 MIDI

MIDI 機能

Nord Organ 3 は、ほかのハードウェア機器やソフトウェア音源を制御するマスター・キーボードとしても使用できます。また、別のキーボードや MIDI デバイスから Nord Organ 3 を制御することもできます。

MIDI チャンネル

アップーマニュアル、ロワーマニュアル、およびベースペダルには、それぞれ個別の MIDI チャンネルが割り振られています。このため、鍵盤ごとに分けて演奏を記録することや、外部のマルチティンバー音源を 1 台の Nord Organ 3 で演奏することができます。

Nord Organ 3 は MIDI メッセージの送受信に、送信用と受信用で同じ MIDI チャンネル番号を使います。これにより、Nord Organ 3 のあらゆる機能を外部から制御できます。また、Nord Organ 3 本体における鍵盤、ペダル、およびパネルの操作を、別の MIDI デバイスやシーケンサーに送信することもできます。

NOTE: フロントパネルに対する操作を示す MIDI CC メッセージは、アップーマニュアルの MIDI チャンネルで送受信します。

NOTE: MIDI メッセージは USB 端子での接続と 5 ピン MIDI 端子での接続との両方で同時に送受信されます。

Related links:

「MIDI Channels」 (29 ページ)

Nord Organ 3 の演奏を音楽制作アプリに記録する

ここでは Nord Organ 3 を使ったパフォーマンス、つまりペダルやパネルの操作など、すべてのアクションを含めた演奏を、MIDI シーケンサーや DAW ソフトといった音楽制作アプリに記録する方法を説明します。

- 1) USB 端子で接続する場合は Nord USB ドライバーをセットアップします。5 ピンの MIDI 端子で接続する場合は適切な MIDI インターフェイスを用意します。
- 2) アップーマニュアル、ロワーマニュアル、およびベースペダルの記録を個別に記録するために、MIDI トランクを 3 つ用意します。
- 3) Nord Organ 3 で設定した MIDI チャンネルを受信するように音楽制作アプリをセットアップします。
- 4) System メニューでローカルコントロールをオフにします。

- 5) Nord Organ 3 で使いたいプログラムを選択します。
- 6) 音楽制作アプリで記録を開始します。

TIP: 工場出荷時の設定ではそれぞれの MIDI チャンネルは、アップーマニュアル = 1、ロワーマニュアル = 2、ベースペダル = 3、と割り振られています。

外部の MIDI 機器から Nord Organ 3 を演奏する

- 1) 外部 MIDI 機器の **[MIDI OUT]** 端子と Nord Organ 3 の **[MIDI IN]** 端子とを接続します。
- 2) 外部 MIDI 機器側の送信 MIDI チャンネルと、Nord Organ 3 側の受信 MIDI チャンネルとを合わせます。

Nord Organ 3 から外部の MIDI 機器を演奏する

- 1) Nord Organ 3 の **[MIDI OUT]** 端子と外部 MIDI 機器の **[MIDI IN]** 端子とを接続します。コンピューター上のソフトウェアを演奏する場合、5 ピン MIDI 端子の代わりに USB 端子でも接続できます。
- 2) Nord Organ 3 側の受信 MIDI チャンネルと、外部 MIDI 機器側の送信 MIDI チャンネルとを合わせます。

MIDI メッセージ

Nord Organ 3 は、これらの MIDI メッセージを送受信できます。

ノートオンとノートオフ

ベロシティーを含むノートオンとノートオフの送受信に対応しています。

コントローラー

- メニュードロップダウンメニューで Nord Organ 3 がコントロールチェンジメッセージを送受信するかどうかを設定できます。
- [SWELL PEDAL]** 端子に接続されたエクスプレッションペダルへの操作は、CC #4 として送受信されます。
- [SUSTAIN PEDAL]** 端子に接続されたサステインペダルへの操作は、CC #64 として送受信されます。Nord Triple Pedal の右側ペダルについても同じように扱われます。

- フロントパネル上のほかの操作子についても、そのほとんどすべてがコントロールチェンジメッセージとして送受信されます。フロントパネルに対する操作を音楽制作アプリに記録することができます。

Related links:

「MIDI CC」 (29 ページ)

「接続端子」 (31 ページ)

「MIDI コントローラーナンバー表」 (32 ページ)

プログラムチェンジ

プログラムまたはライブプログラムをロードすると、Nord Organ 3 はプログラムチェンジメッセージをグローバル MIDI チャンネルで送信します。それぞれのコンテンツタイプは、バンクセレクト MSB 値によって識別されます。

反対に、プログラムチェンジメッセージを受信すると、Nord Organ 3 は対応するプログラムをロードします。

1 つの MIDI プログラムバンクは、50 個のプログラムからなる 2 つのバンクで構成され、1 から 100 までのプログラムナンバーを使います。プログラムチェンジメッセージは次の 3 つの要素から構成されます。

	Regular Program	Live Program
Bank Select MSB (CC #0)	0	1
Bank Select LSB (CC #32)	0–3	0
Program Change	1–100	1–3

NOTE: バンクセレクトメッセージを伴わないプログラムチェンジメッセージを受信すると、Nord Organ 3 は現在選択されているバンクからプログラムをロードします。

System メニューでは、Nord Organ 3 がプログラムチェンジメッセージを送受信するかどうかを設定できます。

Related links:

「MIDI PC」 (29 ページ)

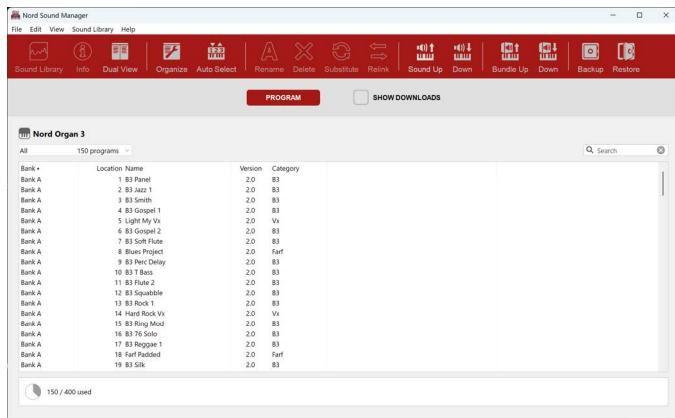
ローカルコントロール

ローカルコントロールがオフに設定されている場合、Nord Organ 3 のキーボードとパネルは音源から「切断」されます。Nord Organ 3 の MIDI ルーティングがループ状に構成されている場合、たとえば音楽制作アプリと組み合わせて使用する場合には、ローカルコントロールをオフに設定します。

Related links:

「Local Control」 (29 ページ)

9 Nord Sound Manager 9



Nord Sound Manager 9 について

Nord Sound Manager 9 は、Nord Organ 3 の内蔵メモリーに保存されたさまざまなデータに対しアクセス、入れ替え、バックアップといった操作を提供するアプリケーションです。

次のリストは Nord Sound Manager 9 でできることの一例です。

- プログラムの並べ替えおよび名前の変更。
- コンピューターへのプログラムのアップロード。
- コンピューターへの Nord Organ 3 全体のバックアップ。
- バックアップを使用した Nord Organ 3 全体のレストア。

Nord Sound Manager 9 は Nord Web サイトの Software ページからダウンロードできます。

動作環境

macOS 10.13 以降

Windows 7-11

Windows 環境での使用には、Nord USB ドライバー v4.0 以降が必要です。ドライバーは、OS アップデーター、Nord Sound Manager 9、および Nord Sample Editor 4 に同梱されていますが、必要に応じて単独でダウンロードすることもできます。

10 メニュー

メニューでおこなった設定の変更はすぐに反映され、次に変更されるまで保存されます。

NOTE: Local Control 設定だけは例外で、Nord Organ 3 が起動するたびに毎回 On に戻ります。

メニューに入るには、**[SHIFT]** を押しながら対応するボタンを押します。それぞれのメニューはいくつかのページに分かれています。ページとページの間は **[PROG/PAGE ▲ / ▼]** ボタンで移動できます。編集したいメニュー項目を選ぶには、**[▲ / ▼]** ボタンを押します。**[PROGRAM]** ダイヤルを回すと値を変更できます。

メニューを閉じるには、**[EXIT]** ボタンを押します。

System メニュー

System Settings

Memory Protect

誤ってプログラムが上書きされることを防ぐため、工場出荷時の Nord Organ 3 はメモリープロテクトがオンに設定されています。すべてのストア操作を有効にするには、これをオフに設定します。本体設定とライブプログラムはこの設定の影響を受けません。

設定値：Off、On（既定値）

Start with “Nord B3”

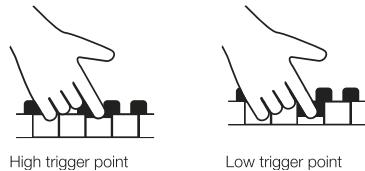
起動した時にロードするプログラムとして「Nord B3」を使うかどうかを設定します。

Nord B3 は「前回のプレイで残された設定にかかわらず、使い始めに適したセッティングに復元する」読み取り専用のプログラムです。この特徴は、複数のオルガニストが共用するスタジオ備品やレンタル機材のような個体において特に有用です。

この設定をオフにすると、Nord Organ 3 は最後に電源を切った時にロードされていたプログラムをロードして起動するようになります。

設定値：Off、On（既定値）

Keyboard Trigger



オルガンサウンドを鳴らすタイミング、つまりどのくらいキーが深く押し込まれた時に発音するかを設定します。High はオリジナルの実機のふるまいを模した設定です。High を選ぶと、オルガンサウンドはキーが完全に押し込まれるよりも前に発音します。

設定値：High（既定値）、Low

Tuning

Global Transpose

Nord Organ 3 全体を半音単位でトランスポーズします。

NOTE: たとえば、プログラムトランスポーズ値が +5、グローバルトランスポーズ値が -1 の状態で C4 キーを押すと、E4 が発音します。

設定値：-6–none（既定値）→+6 semi

Fine Tune

Nord Organ 3 全体のピッチを 1/100 半音単位で調整します。

設定値：-50–none（既定値）→+50 cent

Output Routing

L+R Out

[LEFT OUT] 端子と **[RIGHT OUT]** 端子からどのサウンドを出力するかを設定します。

All に設定すると、Ext Out 設定や Aux Out 設定にかかわらず、すべてのオルガンサウンドが **[LEFT OUT]** 端子と **[RIGHT OUT]** 端子から出力されます。Exclude Ext+Aux に設定すると、Ext Out 設定や Aux Out 設定で選んだ信号は、**[LEFT OUT]** 端子と **[RIGHT OUT]** 端子の出力から除外されます。

設定値：All（既定値）、Exclude Ext+Aux

Ext Out

[EXT. ROTARY SPEAKER] 端子と **[HIGH LEVEL OUT]** 端子からどのサウンドを出力するかを設定します。

NOTE: 端子に何も接続されていない場合、ディスプレイに「Ext: Not connected」と表示されます。

NOTE: 「このサウンドは [EXT. ROTARY SPEAKER] 端子と [HIGH LEVEL OUT] 端子から出力することにしたから、[LEFT OUT] と [RIGHT OUT] からは鳴らないようにしたい」といったケースでは、L+R Out 設定を「Exclude Ext+Aux」に設定します。

設定値: B3 (既定値)、Vx/Farf、B3+Vx/Farf

Aux Out

[AUX OUT] 端子からどのサウンドを出力するかを設定します。

NOTE: 端子に何も接続されていない場合、ディスプレイに「Aux: Not connected」と表示されます。

Clean Copy : ロータリースピーカーシミュレーションに入る前のクリーントーンを出力します。もし **BASS PEDAL [FX Bypass]** がオンである場合、ベースペダルサウンドは **[LEFT OUT]** と **[RIGHT OUT]**、および **[AUX OUT]** のすべてに足されます。

Vx/Farf : Vx オルガンモデルと Farf オルガンモデルのサウンドのみを出力します。アンプモデルとロータリースピーカーを含む、すべてのエフェクトはバイパスされます。

Bass Pedal : ベースペダルサウンドのみを出力します。ロータリースピーカーを含む、すべてのエフェクトはバイパスされます。

Rotary Bass : ロータリースピーカーのベースローターが受け持つ低音域の信号のみを出力します。トレブルホーンが受け持つ高音域の信号は、内部のロータリースピーカーシミュレーションを経て **[LEFT OUT]** と **[RIGHT OUT]** から出力されます。この設定でロータリースピーカーをオフにすると、**[AUX OUT]** からは何も出力されなくなります。

NOTE: 「このサウンドは **[AUX OUT]** から出力することにしたから、**[LEFT OUT]** と **[RIGHT OUT]** からは鳴らないようにしたい」といったケースでは、L+R Out 設定を「Exclude Ext+Aux」に設定します。

設定値: Clean Copy (既定値)、Vx/Farf、Bass Pedal、Rotary Bass

Sustain Pedal

Type

[SUSTAIN PEDAL] 端子にどのタイプ/極性のサスティンペダルを接続しているかを設定します。

サスティンペダルの効果はアップーマニュアル、ロワーマニュアル、およびベースペダルのすべてにかかります。

設定値: Nord SP-1 (既定値)、Nord SP-2、Nord TP-1, Open、Closed

NOTE: 端子に何も接続されていない場合、ディスプレイ下部に「Not connected」と表示されます。

Swell Pedal

Type

[SWELL PEDAL] 端子にどのタイプのエクスプレッションを接続しているかを設定します。

ディスプレイの下部には現在の踏み具合を示すインジケーターが表示されます。ペダルを踏みながらインジケーターを見ることで、正しく動作しているかを確認できます。

設定値: Nord EP (既定値)、Roland EV7、Yamaha FC7、Korg、Fatar SL

NOTE: 端子に何も接続されていない場合、ディスプレイ下部に「Not connected」と表示されます。

Gain

ペダルが示す値に係数をかけます。これは、ペダルをいっぱいに踏み込んでも最大レベルに達しないときに役立ちます。値が大きくなるほど大きな係数がかかり、(ダイナミックレンジとは引き換えに) 最大レベルに達しやすくなります。

設定値: 1 (既定値) -10

Rotary Ctrl

Type

[ROTARY CTRL] 端子にどのタイプ/極性のスイッチペダルを接続しているかを設定します。別売の Half Moon Switch を接続している場合は、ここで Half Moon を選びます。

ディスプレイの下部にはコントローラーの状態を示すインジケーターが並びます。インジケーターは、Half Moon Switch では左 (Slow) - 中央 (Stop) - 右 (Fast) のうち現在選んでいるものを、ペダルでは踏まれている状態を、塗りつぶしの四角形で示します。

TIP: スイッチペダルがうまく動作しない場合はもう片方の極性(元がオープンならクローズ、元がクローズならオープン)を選びます。

設定値: Half Moon、Nord SP-1 (既定値)、Open、Closed

NOTE: 端子に何も接続されていない場合、ディスプレイ下部に「Not connected」と表示されます。

Pedal Mode

[ROTARY CTRL] 端子に接続したスイッチペダルをどのように使うかを設定します。

Toggle を選ぶと、ペダルを踏むごとに Slow と Fast が切り替わります。*Hold* を選ぶと、ペダルを踏んでいるあいだだけ Fast に変わり、ペダルを放すと Slow に戻るようになります。

ROTOR SPEED [STOP] がオンになっている場合、ロータースピードは Stop と Fast の間で切り替わります。

NOTE: この設定は Half Moon Switch には影響を及ぼしません。

設定値 : Toggle (既定値)、Hold

MIDI Channels

Local Control

Nord Organ 3 本体の鍵盤やフロントパネルに、内部のサウンドエンジンを制御するかどうかを設定します。

ローカルオンは、いわば通常の「演奏モード」です。ローカルコントロールをオフにすると、鍵盤やフロントパネルの操作で生成された MIDI メッセージは外部に送信されるのみにとどまり、内部のサウンドエンジンに影響を及ぼさなくなります。

Channel Upper

アッパーマニュアルの MIDI メッセージの送受信に使う MIDI チャンネルを設定します。

設定値 : Off、1 (既定値) -16

Channel Lower

ローワーマニュアルの MIDI メッセージの送受信に使う MIDI チャンネルを設定します。

設定値 : Off、1-2 (既定値) -16

Channel Bass

ベースペダルの MIDI メッセージの送受信に使う MIDI チャンネルを設定します。

設定値 : Off、1-3 (既定値) -16

MIDI Settings

Transpose At

グローバル設定とプログラムごとの設定を足し合わせたトランスポーズ値を、Nord Organ 3 の内と外のどちらで適用するかを設定します。

In に設定すると、受信した MIDI ノートメッセージにトランスポーズ値が適用されます。 *Out* に設定すると、送信する MIDI ノートメッセージにトランスポーズ値が適用されます。 *In* のときの送信ノートおよび *Out* のときの受信ノートは、トランスポーズ値の影響を受けません。

設定値 : In (既定値)、Out

MIDI CC

コントロールチェンジを送受信するかどうかを設定します。

設定値 : Off、Send、Receive、Send & Receive (既定値)

Related links:

「MIDI コントローラーナンバー表」(32 ページ)

MIDI PC

プログラムチェンジを送受信するかどうかを設定します。

設定値 : Off、Send、Receive、Send & Receive (既定値)

Settings Reset

System メニューと Sound メニューのすべての設定を既定値にリセットします。

実行するには、Reset ソフトボタン、Yes ソフトボタンの順に押します。

NOTE: この操作はストアされているプログラムには影響を及ぼしません。

System Info

現在インストールされているオペレーティングシステム (OS) とハードウェア (HW) のバージョンが表示されます。

[PROGRAM] ダイアルを回すと、表示される情報が OS と HW の間で切り替わります。

Sound メニュー

B3 Settings

Keyboard Bounce

B3 オルガンモデルのキーボードバウンス機能を有効にするかどうかを設定します。オンにすると、すばやくキーを放した時のキーオフノイズが強調されます。

設定値 : Off、On (既定値)

Tone-Wheel

B3 トーンホイールのコンディションを設定します。Vintage 設定ではトーンホイール同士のクロストークやケーブルからのリーケージノイズが増えます。

設定値 : Clean、Vintage 1、Vintage 2 (既定値)

B3 Percussion

Normal Volume

PERCUSSION [VOLUME SOFT] がオフのときの B3 パーカッションの音量を設定します。

設定値 : Low、Medium (既定値)、High

Soft Volume

PERCUSSION [VOLUME SOFT] がオンのときの B3 パーカッションの音量を設定します。

設定値 : Low、Medium (既定値)、High

Slow Decay

PERCUSSION [DECAY FAST] がオフのときの B3 パーカッションの減衰にかける時間を設定します。

設定値 : Long、Medium (既定値)、Short

Fast Decay

PERCUSSION [DECAY FAST] がオンのときの B3 パーカッションの減衰にかける時間を設定します。

設定値 : Long、Medium (既定値)、Short

Rotary Speaker

Horn Acceleration

ロータリースピーカーのトレブルホーンの加減速にかける時間を設定します。 **High** を選ぶと **ROTARY SPEAKER [SLOW]** または **ROTARY SPEAKER [FAST]** を押した後、すぐに速度が切り替わります。

設定値 : Low、Normal (既定値)、High

Horn Speed

ロータリースピーカーのトレブルホーンの速度を設定します。

設定値 : Low、Normal (既定値)、High

Rotor Acceleration

ロータリースピーカーのベースローターの加減速にかける時間を設定します。 **High** を選ぶと **ROTARY SPEAKER [SLOW]** または **ROTARY SPEAKER [FAST]** を押した後、すぐに速度が切り替わります。

設定値 : Low、Normal (既定値)、High

Rotor Speed

ロータリースピーカーのベースローターの速度を設定します。

設定値 : Low、Normal (既定値)、High

Rotary Speaker (cont.)

Balance

ベースローターとトレブルホーンの音量バランスを、パーセンテージで設定します。

設定値 : 70/30、65/35、60/40、55/45、50/50 (既定値)、45/55、40/60、35/65、30/70

Stop Angle (Close)

Stop Angle モードがオンである状態で **ROTOR SPEED [STOP]** を押した時に、どの角度でロータリースピーカーの回転を止めるかを設定します。0° から 357° までの範囲から 3° 刻みで設定できます。

設定値 : 0° (既定値) –357°

Related links:

「ロータースピード」 (17 ページ)

Bass User Preset

ベースモデルの User 枠にどのプリセットを割り当てるかを選択します。この設定はプログラムモードではプログラムごとに保存され、パネルモードでは本体設定の一部として保存されます。

設定値 : Upright (既定値)、Torus、Strings、Tuba、Reso

NOTE: このページには、User ベースモデルが選択されているときに **[SHIFT] > [ALTERNATE]** を押すことでもアクセスできます。

11 資料

接続端子



MIDI

MIDI In

コントローラーキーボード、シーケンサー、またはコンピューターなどの外部デバイスから MIDI データを受信するための、5 ピン MIDI In 端子です。

MIDI Out

音源モジュールやコンピューターなどの外部デバイスに MIDI データを送信するための、5 ピン MIDI Out 端子です。

Bass Pedal

ベースペダルサウンドを使うには、外部 MIDI コントローラー（一般的には Nord Pedal Keys 25 のような足鍵盤デバイス）を Nord Organ 3 の **[BASS PEDAL]** 端子に接続します。

ベースペダルパートは送信側の MIDI チャンネルにかかわらず、入ってくるすべての MIDI ノートメッセージを受信します。

Nord Organ 3 は **[BASS PEDAL]** 端子からファンタム電源を供給できます。そのため、Nord Organ 3 と Nord Pedal Keys 25 の組み合わせでは、足鍵盤側に別途電源アダプターを用意する必要がありません。

オーディオ

Ext. Rotary Speaker と High Level Out

11 ピン Leslie™ コネクター **[EXT. ROTARY SPEAKER]** と 6.35 mm フォーンジャック **[HIGH LEVEL OUT]** の 2 つからなる、ロータリースピーカー専用の出力端子です。

[HIGH LEVEL OUT] ジャックはビルトインアンプ付きのロータリースピーカーキャビネットへの接続のみを意図した、アン

バランス仕様の高圧（14 V_{RMS}）出力です。ほかの使い方はしないでください。機器に損傷を与える原因になります。

設定次第では、B3 オルガンを **[EXT. ROTARY SPEAKER]** と **[HIGH LEVEL OUT]** に、ほかのオルガンを **[LEFT OUT]** と **[RIGHT OUT]** に、といったルーティングができます。

Related links:

[「Output Routing」 \(27 ページ\)](#)

Monitor In

スマートフォン、タブレット、コンピューターなどの音源を Nord Organ 3 に入力するための、3.5 mm ステレオミニジャックです。これを活用すると録音済みの音楽やメトロノームを Nord Organ 3 から流すことができます。リハーサルや、同期演奏を活用したパフォーマンスにも便利です。

NOTE: **[MASTER LEVEL]** ノブは、Monitor In 信号のレベルには影響を及ぼしません。

Headphones

6.35 mm ステレオヘッドホンジャックです。本体の手前側とリアパネルに 1 つずつ備えています。オーディオ信号は Output Routing 設定にかかわらず、前後それぞれの Headphones 端子から出力されます。

Left Out と Right Out

アンプやレコーディング機器に接続するための、6.35 mm アンバランスフォーンジャックです。Nord Organ 3 はステレオ仕様です。左右のオーディオチャンネルに個別のシグナルパスを備えています。

Aux Out

アンプやレコーディング機器に接続するための、6.35 mm アンバランスフォーンジャックです。ベースペダルサウンドに個別のオーディオ処理を行いたい場合など、さまざまな目的に使うことができます。

Related links:

[「Aux Out」 \(31 ページ\)](#)

ペダル

Sustain Pedal

Nord Single Pedal 1 (SP-1)、Nord Single Pedal 2 (SP-2)、Nord Triple Pedal 1 (TP-1) などのサステインペダルを接続するための 6.35 mm フォーンジャックです。Nord Organ 3 は一

一般的なサステインペダルのほとんどのモデルをサポートします。

Related links:

「Sustain Pedal」 (28 ページ)

Swell Pedal

Nord EP15 や Nord EP30 などのエクスプレッションペダルを接続するための 6.35 mm TRS フォーンジャックです。TRS フォーンプラグは「ステレオプラグ」とも呼ばれます。Nord Organ 3 は一般的なエクスプレッションペダルのほとんどのモデルをサポートします。

Related links:

「Swell Pedal」 (28 ページ)

Rotary Ctrl

サステインペダル、スイッチペダル、または別売の Half Moon Switch を接続するための 6.35 mm フォーンジャックです。

Related links:

「Rotary Ctrl」 (32 ページ)

USB

Nord Organ 3 をコンピューターに接続するための USB 端子です。USB で接続することで、MIDI メッセージの送受信、本体 OS のアップデートのほか、Nord Sound Manager 9 や Nord Sample Editor 4 との通信も行うことができます。これらのアプリケーションと本体 OS の最新版は、Nord Web サイトからいつでもダウンロードできます。

NOTE: USB MIDI と 5 ピン MIDI 端子は常に同時に使用できません。

MIDI コントローラーナンバー表

ドローバー、パネル操作子、ペダル、およびその他の周辺機器に対するそれぞれの操作は、特定の MIDI コントローラーナンバーと対応します。APPER、ロワー、およびペダルそれぞれの鍵盤で独立して送受信できる機能は、表中ではアスタリスクで示されます。

パラメーター	MIDI CC #
Volume	7
Sustain	64
Swell Pedal	4
Organ Model	9
Bass Model	36
Bass User Preset	12
* Drawbar Focus/Preset	13

パラメーター	MIDI CC #
Panel Control Mode	14
Rotary/Amp Sim Enable	43
Rotary/Amp Sim Type	42
Rotary/Amp Sim Mic Pos	94
Rotary/Amp Sim Drive Type	111
Rotary/Amp Sim Drive Amt	110
Rotor Speed	108
Bass Wide	117
Transpose Enable	55
Program Transpose	56
Modulation Enable	106
Modulation Type	53
Modulation Rate	109
Modulation Amount	112
Modulation Upper Only	57
EQ Enable	115
EQ Bass Gain	50
EQ Mid Gain	116
EQ Mid Frequency	107
EQ Treble	113
Delay Enable	80
Delay Amount	93
Delay Tempo	39
Delay Feedback	83
Delay Analog	81
Delay Filter Type	79
Delay Upper Only	86
Reverb Enable	51
Reverb Type	52
Reverb Amount	102
Reverb Bright/Dark	103
Reverb Chorale	104
Reverb Pre-Rotary	105
B3 Click	31
Vibrato/Chorus Type	84
Chorus Deep	85
* Vibrato/Chorus Enable	44
* Drawbar 1	16
* Drawbar 2	17

パラメーター	MIDI CC #
* Drawbar 3	18
* Drawbar 4	19
* Drawbar 5	20
* Drawbar 6	21
* Drawbar 7	22
* Drawbar 8	23
* Drawbar 9	24
* Bass Pedal 16	16
* Bass Pedal 8	17
Bass Sustain	41
Bass Pedal To Lower	37
Bass Pedal FX Bypass	40
B3 Percussion Enable	87
B3 Percussion Volume	34
B3 Percussion Decay	33
B3 Percussion Harmonic	95
B3 Percussion DB9 Cancel	35
B3 Percussion Polyphonic	54

索引

英数字

440 Hz / 442 Hz	
→ Fine Tune 設定	27
B3 Init	
→ イニシャライズ	11
Bass Pedal – インジケーター	20
DB Sync	
→ ドローバーシンク	10
Deep Chor	11
Leslie™ – シミュレーター	
→ ロータリースピーカー	16
Leslie™ – 接続端子	31
Live	
→ ライブプログラム	(8), 19
Memory Protect	(7), 27
MIDI – インジケーター	20
Nord B3	(7), 18
Percussion	12
Pre-Rotary	23
Presets	10
Prog Mode	
→ プログラムモード	(7), 10
Stop Angle	17
Store	19
Taurus	
→ Torus ベースプリセット	30
Trek	
→ Trk ベースモデル	14
User – ベースモデル	14, 30
Upper Only – Delay	22
Upper Only – Modulation	21
Vibrato/Chorus – B3	11
Vibrato/Chorus – Farf	13
Vibrato/Chorus – Vx	12

あ行

アタック – Trk ベースモデル	14
アタック – キークリック	12
アタック – パーカッション	12
アップデート	1
アンプシミュレーター	17
オーバードライブ	16, 17
イニシャライズ	11
移調	
→ トランスポーズ	20
エクスプレッションペダル	
→ スウェルペダル	15, 28
エフェクト	21
音色	
→ ドローバー	10
音色	
→ プリセット	10

音色	
→ プログラム	18

か行

キーオフノイズ	
→ Keyboard Bounce 設定	29
キークリック	12
キーシフト	
→ トランスポーズ	20
キーシフト	
→ Global Transpose 設定	27
ギターアンプ	17
工場出荷時の状態に戻す	
→ ファクトリーレストア	1

さ行

サステイン – ベース	14
サステインペダル	28
サチュレーション	
→ オーバードライブ	16
スウェルペダル	15, 28
初期化 – 本体設定のみ	
→ Setting Reset コマンド	29
初期化 – 本体全体	
→ ファクトリーレストア	1
初期化 – プログラム	
→ イニシャライズ	11
ストア	
設定	
→ メニュー	(19), 27

た行

チューニング	
→ Fine Tune 設定	27
ディストーション	
→ オーバードライブ	16, 17
ドローバー	10
トランスポーズ	20

は行

パーカッション	12
ハードロック	
→ Brit アンプ	17
歪み	
→ オーバードライブ	16, 17

ピンテージ感	
→ Tone-Wheel 設定	21

ファクトリーレストア	1
------------	---

ファクトリーリセット – 本体設定のみ	
---------------------	--

→ Setting Reset コマンド	29
----------------------	----

ファクトリーリセット – 本体全体	
-------------------	--

→ ファクトリーレストア	1
--------------	---

プリセット	10
-------	----

プリティッシュロック	
------------	--

→ Brit アンプ	17
------------	----

プログラム	18
-------	----

プログラムモード	(7), 10
----------	---------

保存 – プリセット	10
------------	----

保存 – プログラム	
------------	--

→ ストア	(8), 19
-------	---------

保存 – 本体設定	
-----------	--

→ メニュー	(19), 27
--------	----------

本体設定	
------	--

→ メニュー	(19), 27
--------	----------

ま行

マスターチューニング	
→ Fine Tune 設定	27
メニュー	
→ (19), 27	
メモリープロテクト	(7), 27

や行

余韻 → サステイン – ベース	14
------------------	----

ら行

ライブプログラム	(8), 19
リセット – 本体設定のみ	
→ Setting Reset コマンド	29
リセット – 本体全体	
→ ファクトリーレストア	1
リセット – プログラム	
→ イニシャライズ	11
リリース	
→ サステイン – ベース	14
ロータリースピーカー	16
ロックオルガン	
→ Brit アンプ	17